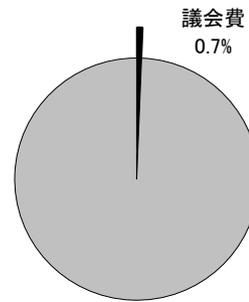


V 主要事業の成果

※特定財源がある事務事業についてのみ
【財源内訳】欄を設けています。

第1款 議会費

■一般会計に占める割合



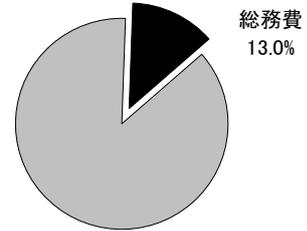
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	503,719	492,166	0	0	60	492,106	97.7%
令和3年度	500,779	483,623	0	0	48	483,575	96.6%
増△減	2,940	8,543	0	0	12	8,531	—

第2款 総務費

■一般会計に占める割合



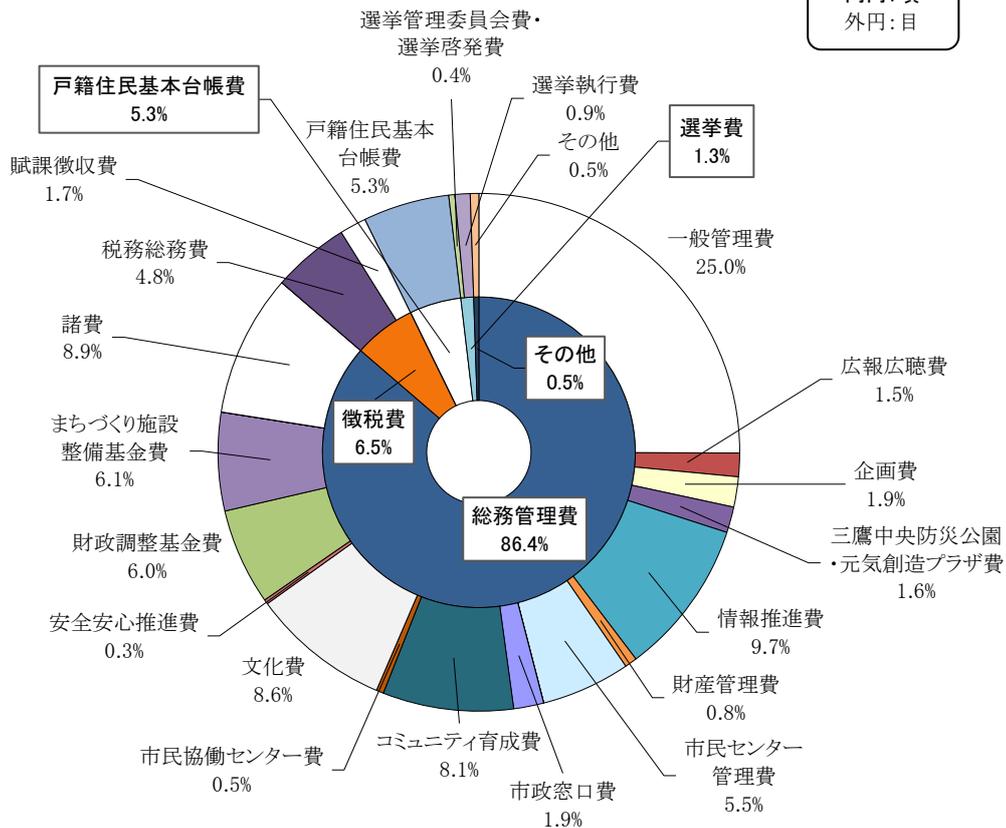
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	10,498,295	9,891,466	836,993	52,300	258,914	8,743,259	94.2%
令和3年度	10,432,879	9,830,830	1,002,363	37,000	272,835	8,518,632	94.2%
増△減	65,416	60,636	△165,370	15,300	△13,921	224,627	—

決算額 項別目別構成比

内円:項
外円:目



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

総務管理費

1 まちづくり応援寄付の推進 14,320,728円 8,311,155円

＜まちづくり応援寄付推進事業費＞

市の魅力発信や来訪者の増加につなげるため、宿泊型（体験型）のふるさと納税返礼品を令和4年5月に導入しました。

また、三鷹市立アニメーション美術館の運営支援や吉村昭書斎の整備に向けて、引き続きクラウドファンディングを実施するなど、収入の確保と市のPRに取り組みました。

〔実績・内容〕

寄付の受入

- ・ふるさと納税制度による返礼品を活用した寄付
受入実績 16,759,000円（1,257件）
- ・宿泊型（体験型）返礼品の導入
日本が世界に誇る芸術家・建築家の荒川修作氏とマドリン・ギンズ氏が設計した「三鷹天命反転住宅」への宿泊券を導入
利用件数 4件
- ・クラウドファンディングの実施
三鷹市立アニメーション美術館の運営支援（71ページ参照）
受付期間 令和4年10月11日～12月31日
受入実績 9,031,835円（630件）※海外からの寄付を含む。
吉村昭書斎の整備（87ページ参照）
受付期間 令和4年12月19日～令和5年3月18日
受入実績 4,065,000円（113件）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

2 三鷹市立アニメーション美術館の運営支援 34,247,000円 13,258,210円

＜まちづくり応援寄附推進事業費、アニメーション美術館管理等関係費＞

入場制限など新型コロナウイルス感染症の影響により年間を通した入館料収入の大幅な減少が続いた状況を勘案して、令和3年度に引き続き、自主事業として開催していた「三鷹市及び近隣市民デー」及び「三鷹市民デー」を市の事業として実施することで運営支援を行いました。また、入館料収入の減少により、大規模修繕を目的とした積立金のとりくずしを行うなど施設の運営と今後の計画的な維持保全に影響が生じていることから、引き続き、ふるさと納税を活用した運営支援交付金による支援を行いました。

〔実績・内容〕

- ・三鷹市及び近隣市民デー、三鷹市民デーの開催 4,226,249円

日 程	三鷹市及び近隣市民デー	令和4年10月1日（土）
	三鷹市民デー	令和4年10月2日（日）
招待者数	三鷹市及び近隣市民デー	1,581人
	三鷹市民デー	1,593人
- ・ふるさと納税の活用 1,235,961円

三鷹市立アニメーション美術館における今後の大規模修繕を見据えて、ふるさと納税を活用した運営支援交付金による支援を行うため、国内外から多くの寄付を募りました。また、寄付をした方には、三鷹市立アニメーション美術館からのお礼のカードを送付しました。

寄付総額	9,031,835円（630件）
	※国内 8,827,000円（602件）、海外 204,835円（28件）
- ・運営支援交付金 7,796,000円

【財源内訳】

<u>寄 附 金</u>	9,031,835円	<u>一 般 財 源</u>	4,226,375円
--------------	------------	----------------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 ウクライナへの人道支援 2,589,796円 2,229,796円

＜まちづくり応援寄附推進事業費、ウクライナ緊急支援事業費＞

ロシア連邦の軍事侵攻により甚大な被害が続いているウクライナに対する多くの方々の支援の気持ちを現地の人道支援に役立てられるよう、令和3年度に引き続き、募金箱を設置しました。令和4年5月までの募金は、必要経費を除いた額を救援金として日本赤十字社へ寄付し、6月以降の募金は、令和5年度の市内で暮らすウクライナ避難民の支援事業に活用するため、基金に積み立てました。

また、市内に避難してきたウクライナの方に対し、生活支援給付金を給付しました。

〔実績・内容〕

・募金及び救援金

受付期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
募金額	2,060,868円		
	内訳	募金箱（17箇所）による寄付	1,799,934円
		ふるさと納税による寄付	260,934円
救援金額	1,232,724円		

・緊急生活支援給付金

給付人数	22人
給付金額	660,000円

【財源内訳】

寄附金	1,242,000円	一般財源	987,796円
-----	------------	------	----------

4 ウクライナ避難民への支援 — —

令和4年3月から受け入れを開始しているウクライナ避難民への支援の一環として、公益財団法人三鷹国際交流協会、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団、三鷹青年会議所、世界連邦運動協会三鷹支部との共催により、市民のウクライナへの理解や交流を深めるためのイベントを開催しました。また、ウクライナ避難民に対しては、日常生活相談のほか日本語スターター講座、スーパーマーケットでの買い物同行支援、ボランティアによるヘアカットサービス、住民との交流を兼ねた防災出前講座の実施など、個人に寄り添った支援を行いました。事業の実施に当たっては、公益財団法人三鷹国際交流協会の基本財産をとりくずして実施しました。

〔実績・内容〕

- ・ウクライナ民族楽器バンドゥーラのコンサート(令和4年5月13日(金))
- ・ことばと文化講座(令和4年5月～6月、令和5年1月～3月)
- ・解説講演付き映画上映会「火の馬」(令和5年2月21日(火))
- ・ウクライナデー～三鷹でウクライナを体感～(令和5年3月5日(日))

〔関連事業費〕

公益財団法人三鷹国際交流協会

ウクライナ特別企画事業 3,684,991円

■ウクライナデーでのウクライナ民謡と舞踏のパフォーマンス



5 「Poki (ポキ)」の活用促進と魅力発信

3,645,577円

3,645,577円

＜ポキ活用促進関係費＞

株式会社スタジオジブリの宮崎駿氏が描いた三鷹のキャラクター「Poki(ポキ)」を多くの人に親んでもらい、更なる周知と魅力発信を図るため、「Poki(ポキ)」をテーマにした4コマまんがコンテストを開催し、市内外から多くの作品の応募がありました。また、応募作品を展示する作品展を開催するとともに、令和4年12月から広報みたかで、入賞・入選作品を順次掲載しました。

〔実績・内容〕

応募総数 496作品(一般部門 232作品、ジュニア部門 264作品)

受賞数 47作品(一般部門 25作品、ジュニア部門 22作品)

表彰式 令和4年12月11日(日)

作品展 令和5年2月7日(火)～2月12日(日)

■ 4コマまんがコンテストの表彰式



6 名誉市民安田養次郎元市長お別れの会の開催 1,301,690円 1,053,791円

＜名誉市民安田養次郎元市長お別れの会関係費＞

令和4年2月15日に逝去された第5代三鷹市長・三鷹市名誉市民の安田養次郎氏の功績を称え、追悼の意を表するため、お別れの会を開催するとともに、市民向けの献花台を設置しました。

〔実績・内容〕

開催日 令和4年8月28日（日）

開催場所 市民センター1階

7 「やさしい日本語」による分かりやすい情報発信 295,000円 239,800円

＜広報事務関係費＞

日本語による情報発信を希望する外国籍市民をはじめ、広く市が発信する情報の受け手に対して、災害時や日常生活に必要な情報をリアルタイムで分かりやすく伝達できるよう、市ホームページを一括で「やさしい日本語※」に自動変換できるシステムを導入しました。

また、あらゆる広報メディアで「やさしい日本語」を情報発信に活用できるよう、広報主任を対象とした職員研修を実施しました。

※外国籍市民等にも分かるように配慮した簡単な日本語のこと。

（例 避難してください。→逃げてください。など）

〔実績・内容〕

文字変換数 4,923件

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
8 個人情報保護制度の見直しに向けた取組	7,205,000円	7,205,000円
＜個人情報保護関係費＞		
<p>「個人情報の保護に関する法律」の一部改正（令和5年4月1日施行）により、三鷹市を含む地方公共団体等においても同法が直接適用され、同法及びガイドライン等の規定に則って運用するよう変更となりました。令和4年度は、法改正に伴う三鷹市の個人情報保護制度の見直しに当たり、制度改正後も引き続き適正な運用が図られ、市民の個人情報が適切に保護されるよう、「三鷹市個人情報保護条例」の全部改正と関係規程の整備を行いました。</p>		
〔実績・内容〕		
<p>「三鷹市個人情報保護条例」の全部改正の主な改正点(令和5年4月1日施行)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 開示請求等に係る決定期限、手続の規定に係る事項 ・ 個人情報ファイル簿の新設 ・ 「三鷹市個人情報保護委員会」に代えて、今後の市における個人情報保護制度の適正な運用を検証する「三鷹市個人情報保護制度運営委員会」の新設 		
9 L G B T 研修の拡充	191,700円	191,700円
＜男女平等参画推進関係費＞		
<p>人権としての性の尊重を基礎としたまちづくりの推進に向けて、L G B Tに関する現状や課題、市職員に求められる配慮や対応など、正しい理解を深めるため、令和3年度の課長補佐・係長職に引き続き、主査・主任職を対象とした研修を実施しました。実施に当たり、会場で開催した研修を録画し、編集した動画をオンラインで職員の端末などから視聴し受講できるようにすることで、多数の対象者に対応しました。</p>		
〔実績・内容〕		
<p>L G B T当事者の方を講師として招き、性の多様性に関する基礎知識のほか、性的マイノリティが遭遇しやすい困りごとや職場・窓口対応での解決のヒントなど、当事者ならではの視点を踏まえた研修を実施しました。</p>		
開催日	会場開催 令和4年10月20日（木）	
	オンライン 令和5年1月16日（月）～2月28日（火）	
受講者数	348人（会場受講者 34人、オンライン受講者 314人）	

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 三鷹ネットワーク大学の研究・運営への支援 6,400,000円 2,215,413円

＜三鷹ネットワーク大学運営費＞

新たなまちづくりや政策課題に関する調査研究に積極的に取り組むため、三鷹まちづくり総合研究所に特任研究員を新たに設置しました。

また、「民学産公」協働研究事業について、継続研究支援枠を新設し、研究事業の更なる支援を行うことで、三鷹市のまちづくりに資する取組を推進しました。

〔実績・内容〕

- ・特任研究員の設置 590,000円

三鷹まちづくり総合研究所に学識経験者等の特任研究員を設置し、まちづくりに資する事業の更なる深化を図りました。

設置人数 10人

活動実績

- ・市民満足度調査の実施に係る助言
- ・市民参加でまちづくり補助金事業選考委員の就任
- ・「みたか地域ポイント」事業導入に向けた助言
- ・「三鷹市基本構想」改正に関するワークショップの手法等に係る助言
- ・市民研究員（まちづくり研究員）等への助言・論文査読

- ・「民学産公」協働研究事業の拡充 1,625,413円

三鷹ネットワーク大学推進機構で実施している「民学産公」協働研究事業について、過去に実施した実証実験のうち、継続して取組を進めることにより、更なる地域活性化や三鷹のまちづくりにつながると認められる研究事業を支援するため、継続研究支援枠を新設しました。

補助件数 7件

補助金額 1,625,413円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

11 市民参加でまちづくり協議会の活動の更なる充実 41,868,694円 30,353,244円

＜参加と協働推進事業費＞

地域課題の解決や持続可能な地域社会の実現に向けた市民参加の取組として、令和3年10月に設立した「市民参加でまちづくり協議会（以下「協議会」という。）」の活動を推進しました。協議会メンバーが市民参加の実践により、多様な市民の思いやアイデアを聴いて政策提案につなげることを目指し、政策テーマ別の部会・グループで会合を行うなど、新たな市民参加のまちづくりに取り組みました。

また、協議会メンバー向けのファシリテーション研修や地域住民も対象とした初心者向けZoom講習会の開催、デジ活サポートサロン、市民活動ふらっとサロンの開設など市民活動を支援するほか、協議会メンバーの自助・共助の取組を支援する補助金を新設するなど協議会の活動の更なる充実を図りました。

〔実績・内容〕

・市民参加でまちづくり協議会の活動

多様な市民の思いやアイデアを市政に反映させる立案者として、また、地域の課題を市民とともに解決する支援者として、令和5年度の「三鷹市基本構想」の改正や令和6年度の「第5次三鷹市基本計画」の策定に向けた政策提案に結実させることを目的に、傾聴・対話・共感の活動方針をもとに、引き続き、活動を継続しました。

市民ボランティア人数 358人（令和5年3月31日時点）

・政策テーマ部会（7部会）

市への政策提案に向けて、部会の各グループが決定した政策テーマの課題や解決策（アイデア）等について議論を重ね、令和5年3月4日（土）に開催した全体会で中間報告を行い、政策提案の一次提案を市に提出しました。

政策テーマ部会・グループ開催回数 726回（令和3年11月～5年3月）

政策テーマ部会の人数内訳（令和5年3月31日時点）

①快適なまちづくり部会	61人
②活力のあるまちづくり部会	67人
③安全なまちづくり部会	27人
④安心なまちづくり部会	41人
⑤子どもが輝くまちづくり部会	60人
⑥心ゆたかなまちづくり部会	55人
⑦ふれあいのまちづくり部会	47人
計	358人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・市民活動の支援

協議会メンバー対象のファシリテーション能力向上研修の開催

(6回開催、参加者数 85人)

協議会メンバーのほか地域住民を対象とした初心者向けZoom講習会の開催

(10回開催、参加者数 36人)

デジ活サポートサロンの開設 (32回開催、相談者数 55人)

市民活動ふらっとサロンの開設 (9回開催、相談者数 28人)

・市民参加でまちづくり補助金制度の実施

協議会メンバーが企画する自助・共助の取組のうち、申請のあった取組について学識経験者等による選考会で審査のうえ、活動費用を助成しました。

補助件数 6件

補助金額 934,762円

補助率 10/10 (補助上限額20万円)

【財源内訳】

都支出金	3,280,000円	一般財源	27,073,244円
------	------------	------	-------------

12 「みたか地域ポイント」の試行実施 30,256,520円 17,347,513円

＜ボランティアポイント・地域通貨事業費＞

ボランティア活動や地域活動を促進するとともに、地域課題の解決や地域のにぎわいを創出することを目的とした「みたか地域ポイント」の試行運用を令和4年12月から開始しました。令和4年度は、ボランティア活動や地域活動の促進を基本コンセプトとして、一部のボランティア活動の参加者や市が設定したテーマに係るイベントの参加者に対してポイントを付与しました。ポイントは、記念品との交換のほか、一部公共施設の使用料等の決済に利用されました。

〔実績・内容〕

付与したポイントは、スマートフォンアプリ「みたか地域ポイント」又はスタンプカードにて利用できるようにしました。

アプリ登録者数 789人

スタンプカード配布人数 29人

発行ポイント数 251,250ポイント

利用ポイント数 28,400ポイント

【財源内訳】

都支出金	17,317,000円	一般財源	30,513円
------	-------------	------	---------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額				
13 人権基本条例（仮称）の制定に向けた取組	1,166,340円	621,622円				
＜人権基本条例（仮称）関係費＞						
<p>人権が尊重され、だれもが安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた指針となる「人権基本条例（仮称）」について、令和6年3月の制定に向けて検討を進めました。</p> <p>令和4年度は、市民ワークショップを開催したほか、市民会議や審議会での意見聴取、人権課題に係る当事者や関係団体等へのヒアリングを行い、多様な意見を聴取し、令和5年3月に「人権基本条例（仮称）の制定に向けた基本的な考え方（案）」をとりまとめました。</p> <p>〔実績・内容〕</p> <p>市民ワークショップの開催</p> <p>開催日 令和4年8月27日（土）</p> <p>テーマ だれもが安心して暮らせるまちづくり</p> <p>参加者数 69人</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td>都支出金</td> <td>25,000円</td> <td>一般財源</td> <td>596,622円</td> </tr> </table>	都支出金	25,000円	一般財源	596,622円		
都支出金	25,000円	一般財源	596,622円			
14 多文化共生センター（仮称）整備に向けた取組	19,000円	0円				
＜多文化共生センター（仮称）関係費＞						
<p>三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業において整備を予定している多文化共生センター（仮称）について、再開発事業の進捗に合わせながら行うこととしたため、基本方針の策定には至りませんでした。令和4年度は、男女平等参画審議会やみたか国際化円卓会議で意見を聴きながら、施設のコンセプトや機能などについて、検討を進めました。</p>						
15 基本構想の改正及び基本計画の策定に向けた取組	5,832,000円	4,963,464円				
＜第5次基本計画策定等準備関係費＞						
<p>コロナ禍により各施策の進捗に影響が生じていることや市議・市長選挙を踏まえた新たな施策を反映させる必要があることから、「三鷹市基本構想」の改正は令和5年度、「第5次三鷹市基本計画」の策定は令和6年度に行うこととしました。</p> <p>令和4年度は、市民満足度調査を実施したほか、「三鷹を考える基礎用語事典2022」を作成しました。</p>						

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

- | | | |
|--|--------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| | ・ 市民満足度調査の実施 | 3,212,000円 |
| | 調査対象 | 市内在住の満15歳以上の中から、住民基本台帳をもとに
3,500人を無作為に抽出し、郵送により調査を実施
(回答はWebまたは郵送による回収) |
| | 調査期間 | 令和4年10月13日～11月14日 |
| | 有効回収率 | 43.7% |
- | | | |
|--|-------------------------|------------|
| | ・ 「三鷹を考える基礎用語事典2022」の作成 | 1,751,464円 |
|--|-------------------------|------------|

16 学校3部制基本プランの策定に向けた取組 157,000円 0円

＜学校3部制関係費＞

学校単位で地域の共有地「コモンズ」を目指す学校3部制について、運営主体や施設の位置づけ、全体のイメージを盛り込んだ基本プランの検討を進めましたが、策定には至りませんでした。第1部から第3部までを有機的につなぎ、地域特性に応じた活動の活性化に向けて、検討を進めました。

〔関連事業費〕

教育費 スクール・コミュニティの実現に向けた学校3部制のモデル実施
25,313,920円 (169ページ参照)

17 トルコ・シリア地震における復興支援 149,241円 149,241円

＜トルコ・シリア地震緊急支援事業費＞

令和5年2月6日にトルコ南部のシリア国境近くで発生した地震の被災者に対し、市民をはじめとした多くの方々の支援の気持ちを現地の復興支援に役立てられるよう、市内4箇所に募金箱を設置しました。集まった募金は、救援金として日本赤十字社へ寄付しました。

〔実績・内容〕

受付期間	令和5年2月13日～3月31日
募金額(救援金額)	149,241円

【財源内訳】

寄	附	金	149,241円
---	---	---	----------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

18 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検 28,058,000円 24,870,691円

＜三鷹中央防災公園・元気創造プラザ管理運営費＞

三鷹中央防災公園・元気創造プラザの利用者満足度の向上、利用者の増加を図るため、市民参加、学識参加、職員参加の充実により三鷹中央防災公園・元気創造プラザのより良い施設運営に向けた取組を推進しました。令和4年度は、元年度から2年度にかけてハード・ソフトの両面からの多角的な視点で行ってきた総点検を総括するとともに、施設使用料のキャッシュレス決済を導入しました。

なお、令和4年度の総括をもって総点検を終了し、令和5年度からは全館融合事業としてのイベントの開催など継続的な事業展開を行います。

〔実績・内容〕

- ・総点検の総括 8,190,860円

各フロアで連携して開催した「まるごとウェルカムデー」における「ウォークショップ」の取組などのイベントを踏まえて、次年度以降の全館融合事業の継続開催に向けた課題整理や施設設備に係る改修・改善の実施について取りまとめを行いました。

- ・キャッシュレス決済の導入 16,679,831円

元気創造プラザ（SUBARU総合スポーツセンターを含む。）、新川テニスコート、大沢総合グラウンドにおいて使用している券売機について、令和4年10月から交通系電子マネーによるキャッシュレス決済を導入するとともに、令和5年2月から現金チャージや回数券機能を有する「スポーツ・生涯学習個人利用市民カード」を新たに発行し、カードでの入退場を可能とすることで、利用者の利便性の向上を図りました。

【財源内訳】

都 支 出 金 12,146,000円	一 般 財 源 12,724,691円
---------------------	---------------------

19 情報基盤システム等の更新

庁内の業務システムを利用するための情報基盤システム及び職員用パソコンが令和5年度に現行契約の満期を迎えるため、システム等の更新に向けた取組を進めました。更新に当たっては、令和4年3月に改定された総務省の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を踏まえ、セキュリティ対策の強化と業務効率化を図るとともに、職員のリモートワークやWeb会議が可能な環境となるよう構築作業を進めました。

また、内部情報システム及び財務会計システムは令和4年度に現行契約の満期を迎えましたが、1年間契約を延長し、情報基盤システム等の更新に合わせて令和5年度にシステムの更新を行います。

〔債務負担行為の内容〕

- ・令和5年度以降の導入分
 - 情報基盤システム使用料
(令和5～10年度＜債務負担分＞1,779,232,035円)
 - 内部情報システム利用料
(令和5～10年度＜債務負担分＞258,060,000円)
 - 財務会計システム利用料
(令和5～10年度＜債務負担分＞179,813,700円)
- ・整備期間の延長分
 - 内部情報システム利用料(令和4年度分)
(令和5年度＜債務負担分＞30,928,362円)
 - 財務会計システム利用料(令和4年度分)
(令和5年度＜債務負担分＞9,834,000円)
 - 情報セキュリティ強化システム使用料(令和4年度分)
(令和5年度＜債務負担分＞24,420,000円)

20 「スマートシティ三鷹」の実現に向けた取組 46,834,000円 24,971,576円

＜スマートシティ推進関係費＞

令和4年6月に策定した「スマートシティ三鷹（仮称）の実現に向けた基本方針」において示す5つの重点テーマに基づいて、実装・実証を繰り返しながら、各種施策に取り組みました。また、令和6年度の「スマートシティ三鷹構想」の策定に向けた検討を進めました。

〔実績・内容〕

(1) 実装

電子申請やアンケート等のフォームを簡単に作成・管理できるオンライン申請システム（LoGoフォーム）を実装し、ゆりかご面接の予約受付を始めとした102種類の手続きに活用するなど、オンライン化の促進に取り組みました。

(2) 実証

- ・災害時における情報提供や平時における見守りの手段となるスマートスピーカーの活用については、令和4年12月に大沢地区の高齢者世帯などを中心に29世帯で実証を行いました。
- ・子ども発達支援センターにおいて、VR（仮想現実）技術を活用した子育てサロンの整備に向け、育児相談やイベント等を想定した実証を行いました。

- ・ケアネットのサロン等において、職員等がロボットを通じて参加するなど遠隔地からのコミュニケーション支援に向けた実証を行いました。なお、実装に向けては、通信環境の整備等の課題があり、利活用が難しいことから、実証を終了しました。

(3) デジタル人財の育成に向けたDX推進等に係る基礎研修の実施

【財源内訳】

都支出金 13,840,000円 一般財源 11,131,576円

21 行政手続きのオンライン化対応

28,050,000円

23,100,000円

＜社会保障・税番号制度システム整備事業費＞

「自治体DX推進計画〔第2.0版〕」において、全自治体が優先的にオンライン化を推進すべき手続きのうち、特に国民の利便性向上に資する手続きについては、マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続きを可能とするとの方針が示されたことから、申請情報を管理するシステムの開発・導入を行い、令和5年3月までにシステム環境の整備を完了しました。

〔実績・内容〕

国において示された31手続きのうち、罹災証明の発行申請や都道府県対象の自動車保有関係5手続きを除いた、優先して着手すべき26手続きについて、マイナポータルからの申請情報を市の基幹系システムへ取り込むためのシステムを導入しました。

子育て関係（15手続）※市区町村対象手続	介護関係（11手続）※市区町村対象手続
児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求	要介護・要支援認定の申請
氏名変更／住所変更等の届出	被保険者証の再交付申請
児童手当等に係る寄付の申出	ほか9手続
支給認定の申請	被災者支援関係（1手続）※市区町村対象手続
保育施設等の利用申込	自動車保有関係（4手続）※都道府県対象手続
妊娠の届出	自動車税環境性能割の申告納付
ほか9手続	ほか3手続

【財源内訳】

都支出金 1,564,000円 諸収入 20,952,000円

一般財源 584,000円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
22 竣工図及び設計図面等の電子化の推進	6,000,000円	3,071,090円
＜ファシリティ・マネジメント関係費＞ 紙媒体で保管しており、経年劣化・汚損等が進んでいた各公共施設の竣工図及び設計図面等（施工図、計算書を含む）について、一元管理できる環境整備の構築に向けて、対象となる竣工図及び設計図面等の電子化を行いました。また、災害時のデータ保管能力や検索機能の強化による業務効率の向上を図るため、外部クラウドサービスを活用した管理システムの導入に向け、検討に着手しました。 [実績・内容] 製本図面 26,000枚 原 図 15,500枚		
23 「新都市再生ビジョン」の策定	10,850,000円	10,841,512円
＜新都市再生ビジョン策定関係費＞ 令和3年3月策定の「三鷹市防災都市づくり方針」や施設の劣化診断等の結果を踏まえ、「都市経営」と「まちづくり」の観点から、総合的・政策的にファシリティ・マネジメントを推進していくため、「新都市再生ビジョン」を令和4年12月に策定しました。 [計画の内容] 公共施設の建替え・改修の基本的な方針や優先順位の考え方、中長期的な修繕計画など、老朽化した公共施設の適切な維持保全や建替え等を計画的に進めるための原理・原則となる考え方や方向性を示しました。		
24 本庁舎排水配管の改修	41,151,000円	35,035,000円
＜市民センター改修事業費＞ 令和元年9月から令和2年2月に実施した庁舎・議場等劣化診断に基づき、早急に対応が必要な本庁舎排水配管について、令和3年度の設計に基づいて改修工事を実施しました。 [実績・内容] 工事期間 令和4年4月～9月 改修範囲 本庁舎地下2階～5階湯沸室 改修内容 汚水・雑排水の配管及び通気配管の更新、未使用ガス管の撤去等 ※「新都市再生ビジョン」を策定する令和4年度までは、緊急性の高い箇所について改修工事を実施しました。		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

25 市政窓口へのキャッシュレス決済とセミセルフレジの導入

〈市政窓口管理費、各市政窓口運営費〉 14,614,982円 14,387,556円

各市政窓口における証明書交付等手数料の支払いについて、先行して導入した市民課総合窓口と同様に、令和4年5月下旬から電子マネー、クレジットカード及び二次元コード決済とセミセルフレジ（現金自動精算機）を導入し、接触機会の解消と受付時間の短縮により、新型コロナウイルスの感染リスクの軽減と市民サービスの向上を図りました。

〔実績・内容〕

利用可能なキャッシュレス決済の種類（令和5年6月時点）

- 電子マネー（交通系IC、楽天Edy、WAON、nanaco、iD、QUICPay）
- クレジットカード（VISA、Master、JCB、AMEX、DinersClub、銀聯）
- 二次元コード決済（楽天ペイ、メルペイ、auPAY、d払い、PayPay）

【財源内訳】

都支出金	3,885,000円	一般財源	10,502,556円
------	------------	------	-------------

26 「コミュニティ推進計画（仮称）」策定に向けた取組 240,000円 23,760円

〈コミュニティ創生研究事業費〉

コミュニティ創生に係る市の基本的な考え方を示すための「コミュニティ創生基本方針（仮称）」については、令和5年7月の「市民参加でまちづくり協議会」の政策提案や令和5年度に改正する「三鷹市基本構想」等との整合性を図るため、令和6年3月に策定することとしました。

令和4年度は、地域コミュニティや庁内関係部署などへのヒアリングを行うとともに、令和4年3月策定の「これからのコミュニティのあり方に関する基本的な考え方」と8月策定の「コミュニティ創生基本方針策定に向けた議論のための論点整理」を活用しながら検討を進めました。

27 コミュニティ・センター体育館への空調設備の整備 11,128,828円 11,128,260円

〈コミュニティ・センター改修等事業費〉

快適な市民活動の環境整備に向けて、夏季の熱中症対策や避難所としての機能強化を図るため、体育館のあるコミュニティ・センター5箇所（大沢・牟礼・井口・新川中原・連雀）にリース方式による空調設備を整備し、令和4年10月に完了しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

整備方式 GHP（都市ガス） 大沢、牟礼、新川中原
 GHP（LPガス） 井口
 スポット方式（電気） 連雀

〔債務負担行為の内容〕

- ・大沢コミュニティ・センター他3施設体育館空調機器使用料 8,302,800円
 （令和5～14年度＜債務負担分＞157,753,200円 全体事業費166,056,000円）
- ・連雀コミュニティ・センター体育館空調機器使用料 2,825,460円
 （令和5～9年度＜債務負担分＞25,429,140円 全体事業費28,254,600円）

28 新しい生活様式に対応した市民活動の支援 5,630,000円 4,474,119円

＜市民協働センター管理関係費、市民協働推進事業費＞

新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されていた住民協議会や町会等への支援として、令和3年度に引き続き、市民ICTサポーターを活用した地域コミュニティ向けICT支援事業を実施し、オンライン会議の普及による市民活動の継続を支援しました。

〔実績・内容〕

市民サポーターによる地域コミュニティ向けICT講座
 参加者数 132名
 開催回数 15回

29 桜井浜江記念市民ギャラリーの運営 6,499,000円 5,068,864円

＜芸術文化施設管理関係費＞

故・桜井浜江氏の画業を顕彰するとともに、市民の美術作品発表の場として、三鷹駅前の民間マンション1階スペースを賃借し、桜井浜江記念市民ギャラリーを令和4年4月に開設しました。なお、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団を指定管理者とし、施設管理と顕彰事業を一体的に運営しました。

〔実績・内容〕

開館日 令和4年4月19日（火）
 ※令和4年4月19日から5月1日までは開館を記念した企画展を開催し、市民への貸出しは6月より開始しました。

所在地 下連雀三丁目42番3号

開館時間 午前10時～午後6時

施設使用料 1日 6,000円
 1週間（6日間） 30,000円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

使用料手数料	30,000円	一般財源	5,038,864円
--------	---------	------	------------

30 太宰治文学サロンの利用促進 13,895,000円 13,416,798円

＜太宰治文学サロン管理運営関係費＞

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により、美術ギャラリー「太宰治展示室 三鷹の此の小さい家」との連携を図りながら、令和4年3月のリニューアルオープンにより整備した「ブックカフェ」機能を活用し、多くの太宰作品に関する書籍の展示や関連物品等の販売、市民の交流の場を創出するなど、来館者の利用を促進しました。

31 吉村昭書斎の整備 61,808,100円 61,768,100円

＜吉村昭書斎整備事業費＞

三鷹市ゆかりの文学者である故・吉村昭氏を顕彰する施設の整備に向けて、基本・実施設計を完了し、移築整備工事に着手しました。移築整備工事の実施に当たっては、設計時に引き続き、クラウドファンディングを実施し、財源確保を図るとともに、施設の魅力発信を行いました。また、地域に根ざした施設運営となるよう、開館後の管理運営について検討を進めました。

〔施設概要〕

所在地	井の頭三丁目3番17号
敷地面積	約258㎡（書斎棟 約35㎡、交流棟 約60㎡）
展示内容	吉村昭氏の書斎建物の移築・再現、吉村昭氏や津村節子氏の作品 ・執筆活動に関する資料 など
開館日	週6日（月曜日及び年末年始は休館日）
開館時間	午前10時から午後5時30分まで
入館料	100円（書斎棟のみ）

〔実績・内容〕

寄付総額 4,065,000円（113件）

〔債務負担行為の内容〕

吉村昭書斎整備事業 54,430,000円

（令和5年度＜債務負担分＞82,465,000円 全体事業費136,895,000円）

【財源内訳】

都支出金	23,900,000円	寄附金	4,065,000円
一般財源	33,803,100円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
32 自動通話録音機の設置促進 693,000円 693,000円 ＜安全安心推進費＞ 振り込め詐欺など特殊詐欺の犯罪被害防止を図るため、引き続き、65歳以上の希望者等へ自動通話録音機を貸与しました。 〔実績・内容〕 貸与台数 150台（公募 69台、地域包括支援センター 21台、警察署 60台） 貸与対象 市内在住の65歳以上の高齢者が居住する世帯 ※平成27年度からの累計貸出回数 1,520台		
33 防犯カメラの設置及び維持管理等の促進 3,900,000円 3,711,632円 ＜防犯設備整備事業費＞ 犯罪の抑止と地域の防犯力向上を図るため、地域団体が連携して行う防犯カメラの設置や保守等に対して支援を行うとともに、令和4年度から新たに、防犯装備品の整備に係る経費の一部補助を行い、町会等による継続的な運用を支援しました。また、市の単独事業として、生活安全推進協議会の意見を聴きながら防犯カメラを設置しました。 〔実績・内容〕 <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体及び防犯カメラ設置台数 連雀仲町商店会（下連雀二丁目会・下連雀平和会） 3台、曙会 3台 ・防犯装備品整備支援 整備内容 ベスト、横断旗 整備団体 南浦小学校PTA ・市による防犯カメラの独自設置台数 玉川上水周辺地区 2台 【財源内訳】 都 支 出 金 1,599,000円 一 般 財 源 2,112,632円		

徴税費

1 地方共通納税システムの対象税目拡充に向けたシステム改修

＜地方税電子申告・納税関係費＞ 792,000円 792,000円

令和5年4月から地方税共同機構が運営するeLTAX（地方税共通納税システム）による電子納税に市民税・都民税（普通徴収）、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）、国民健康保険税を追加し、対象税目を拡充するとともに、「地方税お支払サイト」からのクレジットカード決済に対応するためのシステム改修を行いました。

2 市税等納税者の利便性向上に向けたキャッシュレス納付の導入

＜収納管理関係費＞ 8,361,000円 7,999,616円

令和4年4月から、市税等を含めた幅広い歳入を対象に、各種スマートフォンアプリ決済によるキャッシュレス納付を導入し、新型コロナウイルス感染症対策を推進するとともに、納税者の利便性の向上を図り、安定した市税等収入の確保に努めました。

〔実績・内容〕

- ・対象税目等

	税目等
税・保険料	市民税・都民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料
保育料等	利用者負担額（保育料）、延長保育料、保育園給食費、学童保育所育成料、学童保育所延長育成料、母子及び父子福祉資金償還金、女性福祉資金償還金

- ・利用可能なスマートフォンアプリ決済の種類

PayPay、auPAY、Pay B、FamiPay、d払い、楽天銀行アプリ、J-Coin Pay、LINE Pay、ゆうちょペイ

〔関連事業費〕

民生費	629,594円
国民健康保険事業特別会計	5,091,426円
介護保険事業特別会計	1,130,766円
後期高齢者医療特別会計	777,828円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

戸籍住民基本台帳費

1 戸籍事務におけるマイナンバー制度導入に向けた準備 8,593,000円 8,272,000円

＜戸籍記録事務費＞

令和元年5月に公布された「戸籍法の一部を改正する法律」に基づき、令和5年度末に運用開始予定のマイナンバー制度による情報連携のための準備を引き続き進めました。この全国的な制度改正により、行政手続きにおける戸籍証明書等の添付の省略や、本籍地以外での戸籍証明書等の発行が可能となり、市民サービスの向上につながります。令和4年度は、国の戸籍情報連携システムへ戸籍副本データの全件送信などを行うとともに、国のシステムに接続し、全国の戸籍情報との連携を行えるよう市のシステムを改修しました。

【財源内訳】

国庫支出金 8,272,000円

2 広告付き窓口案内表示システムの導入 756,000円 491,216円

＜住民基本台帳記録事務費、証明書交付等事務費、社会保障・税番号制度推進関係費＞

令和4年8月から本庁舎市民課・保険課窓口及び三鷹駅前市政窓口に、順番お知らせメール配信機能と複数課窓口の発券が一度で済む機能（本庁舎のみ）を備えた窓口受付システムを導入し、混雑の緩和と待ち時間の最適化を図りました。また、広告表示モニターを設置することで、設置や維持管理に係る費用を広告収入により賄い、経費の節減を図りました。

〔関連事業費〕

総務費 三鷹駅前市政窓口運営費	1,266,540円
民生費 国民年金事務費	144,716円
国民健康保険事業特別会計 資格、賦課関係費	41,360円
後期高齢者医療特別会計 資格、賦課事務関係費	116,640円

【財源内訳】

国庫支出金	93,456円	一般財源	397,760円
-------	---------	------	----------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

3 マイナンバーカードの普及促進 213,860,892円 192,137,988円

＜社会保障・税番号制度推進関係費＞

マイナンバーカードの普及促進を図り、「スマートシティ三鷹」を推進する環境を整備するため、三鷹産業プラザに「三鷹市マイナンバーカードセンター」を令和4年8月15日に開設しました。マイナンバー制度関連の支援機能を有した施設を、三鷹駅前周辺エリアに整備したことに加え、平日夜間及び土曜日に開館することにより、市民にとって利便性の高い施設とし、マイナンバーカードの取得促進に努めました。

〔施設概要〕

所在地 下連雀三丁目38番4号（三鷹産業プラザ6階）
 開館時間 平日 午前9時～午後5時（水・金曜日は午前9時～午後7時）
 土曜日 午前9時～午後5時
 取扱事務 マイナンバーカード交付（更新含む）、マイナンバーカード交付申請支援、マイナポイント申請支援

〔実績・内容〕

マイナンバーカード申請数 53,323枚（累計142,635枚、申請率74.8%）
 ※令和5年3月末時点

【財源内訳】

国庫支出金 191,099,044円 一般財源 1,038,944円

■マイナンバーカードセンター



令和4年度に取り組んだ主な施設整備



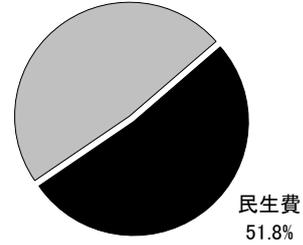
【総務管理費】

①吉村昭書齋

吉村昭書齋の整備

第3款 民生費

■一般会計に占める割合



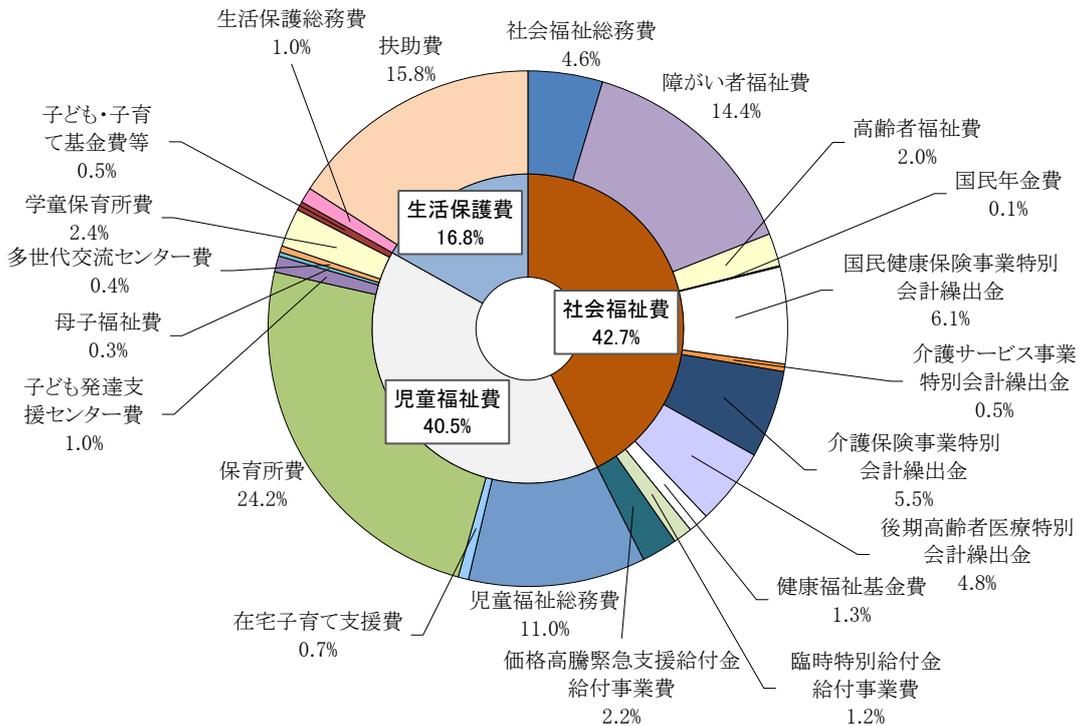
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	42,115,981	39,444,783	20,273,388	47,100	996,265	18,128,030	93.7%
令和3年度	44,741,824	41,254,681	22,358,243	0	926,027	17,970,411	92.2%
増△減	△2,625,843	△1,809,898	△2,084,855	47,100	70,238	157,619	—

決算額項別目別構成比

内円：項
外円：目



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

社会福祉費

1 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展 13,954,000円 9,425,834円

＜地域ケアネットワーク推進事業費＞

住み慣れた地域で、誰もが安心していきいきと暮らすことができる共助のまちづくりを目指し、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい事業方式を取り入れながら、7箇所の地域ケアネットワークの活動などを引き続き支援しました。

〔実績・内容〕

- ・Zoomなどのオンラインを活用した地域ケアネットワークの各種会議や傾聴ボランティアの一部の活動などを実施（計38回）しました。また、ロボット技術をケアネットで紹介するとともに、代表者会議の司会進行やサロンでのクイズ大会をロボットを通じて行うことで、遠隔地での参加を可能にするなど、新しい開催方法を取り入れながら各事業を実施しました。

- ・買物送迎支援事業について、しんなか地区のサロン事業として、地区のニーズを確認し、移動販売者を誘致（計3回）しました。

（参加人数：第1回 25人、第2回 37人、第3回 29人）

- ・連雀・地域ケアネットワークの設立10周年記念事業として、式典を令和5年3月18日（土）に開催し、記念誌や記念品の作成を支援しました。

【財源内訳】

都 支 出 金	4,712,000円	一 般 財 源	4,713,834円
---------	------------	---------	------------

2 災害時避難行動要支援者の「個別避難計画」の作成 6,042,000円 4,168,409円

＜災害時避難行動要支援者支援事業費＞

令和3年5月の災害対策基本法の改正に伴い策定した「三鷹市災害時避難行動要支援者避難支援プラン」に基づき、災害時に支援が必要な「避難行動要支援者」を対象とした「個別避難計画」の作成を推進しました。

令和4年度は、大沢エリアを対象とし、浸水エリアとして野川流域、土砂災害エリアとして大沢地区の一部の災害時避難行動要支援者の中から、ハザードや心身の状況、世帯の状況などに基づき優先度の高い対象者を抽出し、計画作成の支援を行いました。また、災害時に福祉避難所への移送が円滑に行えるよう庁内関係部署や介護事業者、交通事業者等との連携体制について改めて確認しました。

〔実績・内容〕

対象者	87人（浸水エリア84人、土砂災害エリア3人）
作成者	20人（本人作成15人、委託作成5人）
作成不要者	60人（施設入所、長期入院、死亡など）
その他	7人（未返送4人、作成を希望しない3人）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

都支出金	58,000円	一般財源	4,110,409円
------	---------	------	------------

3 補聴器購入費助成事業の実施 10,146,000円 2,168,648円

＜補聴器購入費助成事業費＞

認知症の発症予防や中等度難聴者の生活を支え地域や社会との関わりの中でいきいきと活動できるよう、聴力に課題のある市民を対象に、令和4年10月から補聴器の購入に要する費用の一部を助成しました。

〔実績・内容〕

対象者 以下のすべての要件を満たす方

- ・満18歳以上の三鷹市民で本人の合計所得金額が210万円未満
- ・聴覚障がいによる補聴器(補装具購入費)の支給対象とならない方
- ・補聴器相談医が補聴器を必要と認める方

実績 53人(18～64歳6人、65歳以上47人)

【財源内訳】

都支出金	967,000円	一般財源	1,201,648円
------	----------	------	------------

4 住居確保給付金による生活支援の継続 73,290,400円 37,636,108円

＜生活困窮者住居確保給付金支給事業費＞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休業等により収入が減少し、住居を失うおそれが生じている方のための住居確保給付金について、国の経済対策により、新型コロナウイルス感染症の特例措置である再支給申請の受付期間を、令和5年3月末まで再延長し、継続して支給を行いました。

〔実績・内容〕

支給実績 133件(前年度比176件減)

【財源内訳】

国庫支出金	28,227,081円	一般財源	9,409,027円
-------	-------------	------	------------

5 自立支援給付金による生活支援の継続 87,677,380円 78,245,299円

＜新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費＞

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、国の補助事業として、生活に困窮する世帯等に対し支給を行ってきた新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について、申請受付期間が令和4年12月末まで延長されたことに伴い、継続して支給を行いました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

対象者 社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付を、限度額に達する等の理由により利用できない世帯で、申請者が常用就職に向けて求職活動等を熱心に行っている方

給付実績 794件（単身世帯502件、2人世帯119件、3人以上世帯173件）

【財源内訳】

国庫支出金	78,245,000円	一般財源	299円
-------	-------------	------	------

6 介護・障がい福祉サービス事業所への支援の継続 1,202,000円 185,336円

＜介護・障がい福祉サービス継続支援事業費＞

介護及び障がい福祉サービス利用者が新型コロナウイルス感染症に感染又は濃厚接触者となり自宅で療養等する場合においても、サービスが継続して受けられるように、令和3年度から実施してきたサービス提供事業所に対する支援について、感染症による影響の長期化に伴い、令和5年3月末まで期間を延長し、継続して支援を行いました。

〔実績・内容〕

感染症対応手当に対する補助 185,000円

対象事業所 自宅療養者等と同一空間内で、直接訪問サービスを提供する従事者に感染症対応手当を支給する市内の訪問系サービス事業所及び通所系サービス事業所

助成金額 1日当たり5,000円、利用者1人当たり14日を上限

実績 自宅療養者等11人（介護6人、障がい5人）へのサービス提供

【財源内訳】

都支出金	185,000円	一般財源	336円
------	----------	------	------

7 介護・障がい福祉サービス事業所への物価高騰に伴う支援

153,652,000円 139,797,791円

＜介護・障がい福祉サービス等事業所物価高騰対策支援事業費＞

原油価格・物価高騰に直面している介護・障がい福祉サービス事業所に対して、食材費、光熱費、ガソリン代の高騰分に対し給付金を給付し、利用者負担への転嫁を回避するとともに、事業者の負担軽減を図りました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

対象施設	令和4年7月1日時点において、介護・障がい福祉サービスを提供している市内事業所
対象期間	令和4年7月～令和5年3月
給付額	食材費等の、令和3年度実績から物価高騰の影響（食材費8%、光熱費及びガソリン代10%）を見込んで設定した単価に、入所者数等を乗じた額
実績	133法人（介護99法人、障がい福祉34法人）

【財源内訳】

国庫支出金	104,678,000円	一般財源	35,119,791円
-------	--------------	------	-------------

8 障がい福祉サービス等職員の処遇改善の実施 4,303,077,000円 4,080,177,072円

＜障がい者自立支援介護給付事業費、障がい者自立支援訓練等給付事業費、障がい児通所支援給付事業費＞

国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、令和4年2月に開始した障がい福祉サービス等職員の処遇改善（収入を3%程度：月額9,000円／人）について、予算を増額（補正予算計上額：29,409,000円）して実施しました。9月までの間は東京都が主体となり、事業所へ直接支給していましたが、10月以降は臨時の報酬改定を踏まえ、市が実施主体として行いました。

※予算現額及び決算額は、処遇改善対象サービスの給付費全体額

【財源内訳】

国庫支出金	1,884,292,226円	都支出金	1,121,670,113円
一般財源	1,074,214,733円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

9 地域生活支援拠点における機能の拡充 6,316,727円 4,972,869円

＜地域生活支援拠点事業費＞

基幹相談支援センター、市内の相談支援事業所や一時保護施設など地域の複数の機関が相互に連携して役割を担う地域生活支援拠点の段階的な整備に取り組みました。地域生活支援拠点の5つの機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人財の確保・養成、地域の体制づくり）のうち、令和4年度は「相談機能の充実」に向けた取組を優先的に進め、障がい者等の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えた支援を行いました。

〔実績・内容〕

・相談機能の充実

親亡き後、高齢化、障がいの重度化等により本人らしい生活が維持できなくなることが想定される障がい者等のうち、主に障がい福祉サービス未利用者を中心に、「緊急時支援計画～わたしのあんしんプラン～」を作成し、計画に基づく支援を実施しました。

実績 7人の登録・支援を決定

対象者 精神障がい3人、身体障がい1人、知的障がい1人、その他2人

・体験の機会・場の整備

緊急時に備えた宿泊体験等の場として、心身障がい者（児）一時保護施設「ピアえきまえ」における体験利用に加え、ワンルームタイプ居室を利用した体験滞在の仕組みづくりを行いました。

・地域の体制づくりの支援

令和3年度に引き続き、障がい者（児）地域生活支援拠点連絡会において、本事業の仕組みの検討や「緊急時支援計画」による支援対象者や支援内容の検討等を行いました。

実績 地域生活支援拠点連絡会 6回開催

【財源内訳】

国庫支出金	1,373,000円	都支出金	686,000円
一般財源	2,913,869円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 重症心身障がい児（者）等家族支援事業の実施 1,510,000円 99,540円

＜重症心身障がい児（者）等家族支援事業費＞

重症心身障がい児（者）及び医療的ケアの必要な障がい児を在宅で介護する家族等の負担軽減を行っている既存のレスパイトサービス事業について、東京都の補助制度の拡充を踏まえ、新たに家族等の就労や就職活動を目的としても利用できるように、支援の対象範囲を拡充しました。

〔実績・内容〕

登録者数 17人（前年度比2人増）、訪問看護事業者8事業所
 利用実績 サービス利用5人（家族等の就労・就職活動目的2人）
 診断書料補助1人

【財源内訳】

都 支 出 金 49,000円 一 般 財 源 50,540円

11 三鷹市商店会連合会等と連携したアール・ブリュット作品の展示

＜アール・ブリュット事業費＞ 420,000円 420,000円

三鷹市商店会連合会と三鷹商工会が実施する市内一斉歳末セール期間中に福祉団体等と連携して、障がい者が制作した芸術作品を展示する「アール・ブリュットみたか2023」を開催しました。商店街のにぎわいの創出とともに、障がいのある方の社会参加の促進と障がいの有無にかかわらず誰もが暮らしやすい共生社会の推進に取り組みました。

〔実績・内容〕

開催期間 令和5年1月5日（木）～1月15日（日）
 開催場所 メイン会場 三鷹市美術ギャラリー第1・第2展示室
 サブ会場 星と風のカフェ
 ※両会場は市内一斉歳末セールみたか周遊商店街スタンプラリーのスポットとしても機能しました。

来場者数 1,085名

〔関連事業費〕

商工費 商店会の販売促進と活性化に向けた支援の実施 2,911,014円
 (143ページ参照)

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

12 障がい者施設の整備への支援	300,000円	300,000円
------------------	----------	----------

＜障がい者施設整備助成事業費＞

令和3年11月に開設した障がい者就労等支援事業所サザンに対して、建設に要する費用の一部を助成しました。

〔施設概要〕

施設名称 障がい者就労支援等事業所サザン
 施設種別 障がい福祉サービス事業所（就労移行支援、自立訓練[生活訓練]）
 運営法人 社会福祉法人巣立ち会
 所在地 上連雀一丁目1番3号
 構造等 鉄筋コンクリート造 6階建て 980.53㎡
 定員 40人

〔債務負担行為の内容〕

障がい者就労支援等事業所サザン助成事業 300,000円
 （令和5～23年度＜債務負担分＞29,700,000円 全体事業費30,000,000円）

13 調布基地跡地福祉施設の整備等に向けた取組	633,851円	620,561円
-------------------------	----------	----------

＜調布基地跡地福祉施設整備事業費＞

調布基地跡地に三鷹市、府中市、調布市の三市共同で設置することとしている障がい者福祉施設について、令和4年6月に「調布基地跡地福祉施設（仮称）整備に係る基本プラン」を改定しました。また、10月には事業者の公募を開始し、東京都へ推薦する事業者の選定を行うなど、三市で協議を重ねながら、令和7年度の開設に向けて取り組みました。

〔施設概要〕

医療的なケアが必要な方や重症心身障がい者、重度知的障がい者（強度行動障がい）を対象とした日中活動の場所となる「生活介護事業」と、緊急時の対応やレスパイトケアを図る「短期入所事業」を実施することとしました。

スケジュール

令和4年6月	基本プラン改定
8月	住民説明会（書面）
7月～令和5年2月	選定委員会開催（計5回）
10月	事業者の公募開始
令和5年3月	東京都へ選定した事業者に係る意見書を提出

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

14 障がい者等の生活と福祉実態調査の実施 4,624,000円 4,202,000円

〈障がい者（児）計画策定関係費〉

令和5年度の「第三期三鷹市障がい者（児）計画」の策定に向けて、障がい者等の生活実態やニーズ、福祉サービスの利用状況等の調査を実施しました。

〔実績・内容〕

調査対象及び回収率	18歳以上65歳未満の障がい者等※	18歳未満の障がい児等※	医療的ケア児・者	高齢障がい者	入院中の精神障がい者	施設入所者
	対象者2,222人 (回収率37.7%)	対象者 401人 (回収率47.4%)	対象者 40人 (回収率77.5%)	対象者 219人 (回収率43.8%)	対象者 189人 (回収率41.8%)	対象者 123人 (回収率78.0%)
調査項目	福祉サービスの利用状況や利用意向、日常生活や社会参加の現状と課題				現状や将来の生活などの地域移行の意向	
調査手法	郵送による配布、郵送・Webによる回収			郵送による配布・回収		

※身体・知的・精神の各障害者手帳所持者、自立支援医療（精神通院）受給者、難病医療費助成受給者

〔債務負担行為の内容〕

第三期障がい者（児）計画策定支援業務委託事業 4,202,000円
（令和5年度＜債務負担分＞4,070,000円 全体事業費8,272,000円）

15 在宅医療・介護の連携の推進 5,048,000円 4,002,645円

〈在宅医療・介護連携推進事業費〉

医療と介護の両方を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、「三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会」を中心に取組を推進しました。令和4年度は、各部会において、より専門性の高い検討を進めました。

〔実績・内容〕

- ・医療介護連携推進部会 5回開催
「連携窓口みたか」の実績報告及び事例共有、医療介護連携上の課題抽出
- ・病院連携部会 5回開催
後方支援病床利用事業の実績報告、病院連携における架空事例場面検証、各病院の新型コロナウイルス感染症対応状況について意見交換
- ・ICT部会 5回開催
ICTツールの活用の課題抽出
介護・医療・地域資源情報検索サイト「三鷹かよおっと」の活用の推進
- ・資源研修部会 3回開催
市内研修情報の集約と発信、薬剤師向け研修の実施、病院向け研修の企画

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

- ・市民啓発部会 6回開催
 - 市民啓発動画「終活始めませんか～自分のため、大切な人のために今からできること～」の作成及び上映
 - 啓発パンフレット「わが家・三鷹で暮らし続けるために」の更新
 - エンディングノート「令和5年わたしの人生ノート」の作成
 - ダウンロード版エンディングノート「大切な方への絆ノート」の作成

【財源内訳】

都支出金	2,000,000円	一般財源	2,002,645円
------	------------	------	------------

16 高齢者社会活動マッチング推進事業の拡充 5,903,000円 5,902,214円

＜高齢者社会活動マッチング推進事業費＞

培った専門的な知識や経験を地域で発揮したい高齢者と、サポートを必要とする個人や団体とを結びつけ、高齢者の社会活動への参加を推進するマッチング推進事業について、オンラインコミュニケーションなどコロナ禍における生活様式の変化に対応し、高齢者がより多様な活動ができるように、ICTスキルアップ講座の拡充を行いました。

〔実績・内容〕

パソコン活用講座（Word、Excel）※	2回
ICT何でも相談会（スマートフォン、タブレット、パソコン）※	11回
Zoom体験会、基礎・活用講座	3回
インターネット安全講座	2回
※令和4年度からの新規講座	

【財源内訳】

都支出金	5,902,000円	一般財源	214円
------	------------	------	------

17 介護人財の確保に向けた支援の充実 14,513,000円 11,352,915円

＜介護人財確保事業費＞

福祉・介護サービスに対する需要の増大・多様化に対応し、質の高い介護サービスを安定して提供するため、介護人財の裾野の拡大に向けて、新たに小学生向けの夏休み介護施設体験教室の実施や、中学生向けの介護の仕事紹介冊子（マンガ）を作成するなど、介護の仕事のイメージアップに向けた取組を推進しました。また、介護職員向け研修の拡充により、介護人財の定着促進にも取り組みました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

- ・夏休み介護施設体験教室の実施
 - 対象者 市内在住又は在学の小学4年生から6年生までの児童及びその保護者
 - 開催場所 市内8施設（特別養護老人ホーム5施設、介護老人保健施設2施設、認知症高齢者グループホーム1施設）
 - 開催期間 令和4年7月26日（火）～8月24日（水）
 - 参加実績 24人（定員に達したため締切）
- ・マンガで分かる介護のお仕事冊子の作成
 - 市立中学校2年生（約1,400人）を対象に、介護職への興味・関心を抱いてもらうとともに、高齢者の介護とその仕事への理解を深めることを目的とした冊子を作成しました。
- ・介護職員向け研修会の実施
 - 管理職向け 14人、中堅職員向け 14人、若手職員向け 6人
- ・介護職員の研修費等補助
 - 初任者研修 13人、実務者研修 31人、介護福祉士資格取得 9人

【財源内訳】

都支出金	4,365,000円	一般財源	6,987,915円
------	------------	------	------------

18 介護事業者の地域連携の推進 10,000,000円 8,955,933円

＜介護事業者地域連携推進事業費＞

高齢者介護において重要な役割を担う小規模事業者が安定的に事業を継続することにより、介護サービスを安定して提供するため、令和3年度に引き続き、中核事業者を中心とした事業者間の緩やかな連携体制の構築に向けた支援を行いました。

〔実績・内容〕

- ・連絡会議への出席（月1回）
- ・BCP（事業継続計画）の作成及び実施訓練
 - 令和4年4月～10月 BCP（自然災害編）作成
 - 11月～12月 BCP（感染症拡大編）作成
 - 令和5年1月～2月 BCP実施訓練

【財源内訳】

都支出金	8,945,000円	諸収入	10,231円
一般財源	702円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

19 福祉Laboどんぐり山プロジェクトの推進 198,641,813円 196,726,934円

＜旧どんぐり山施設利活用関係費、旧どんぐり山施設改修事業費＞

在宅医療・介護の研究拠点、介護人材の育成拠点として整備する福祉Laboどんぐり山について、令和3年度からの実施設計を踏まえ、令和4年10月から改修工事に着手しました。また、令和4年12月に「三鷹市福祉Laboどんぐり山条例」を制定し、令和5年3月に指定管理者の指定を行うとともに、プレ事業やイベントの実施を通して関係機関との連携強化を図るなど、令和5年12月の開設に向けた準備を進めました。

〔実績・内容〕

- ・在宅医療・介護研究センター
 - プレ事業「My Voice Diary」実証実験の中間・最終報告会
 - プレ事業「デジタル機器体験会」の実施
- ・介護人材育成センター
 - プレ事業「介護事業者向け出前研修」「家族介護者向け研修」の実施
- ・イベントの実施
 - 新たな技術で支える高齢者の暮らしと健康
 - 実施期間 令和5年3月24日（金）
 - 実施内容 最新デジタル福祉機器体験会、講演会、研修会
 - 参加者 市民・介護事業者 約90人
- ・プロジェクトアドバイザー会議の開催
 - 企業、大学、医師会等各分野の専門的な知見に基づきアドバイスをいただくための会議を開催（全3回）

〔債務負担行為の内容〕

- ・旧どんぐり山施設改修事業 155,610,000円
（令和5年度＜債務負担分＞435,090,000円 全体事業費590,700,000円）
- ・福祉Laboどんぐり山指定管理料
（令和5～8年度＜債務負担分＞）

【財源内訳】

都支出金	113,000,000円	市債	47,100,000円
一般財源	36,626,934円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
20 認知症高齢者グループホームの整備への支援	21,720,000円	0円
＜認知症高齢者グループホーム助成事業費＞		
<p>令和6年3月の開設に向けて準備を進めてきた西部・大沢地区の認知症高齢者グループホームについて、令和4年度中に整備・運営事業者を決定し着工を予定していましたが、事業者決定後、東京都の補助金の内示が令和5年度となったため、事業者とスケジュールの調整を行い、開設時期は変更せずに着工を令和5年度に見送りました。</p>		
21 オンラインツールを活用した介護予防・フレイル予防活動の支援		
＜介護予防・フレイル予防活動支援事業費＞	1,100,000円	1,100,000円
<p>新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛に伴う高齢者のフレイルを防ぐため、オンラインツールを活用した介護予防体操（うごこっと体操）講座を開催するとともに、うごこっと体操の普及促進を目指し、令和3年度に作成した動画と冊子に加え、音声解説CDと体操のイラストを一覧表示したポスターを作成し、活用しました。</p>		
<p>〔実績・内容〕</p>		
<p>対象者 65歳以上の市民</p>		
<p>講座内容 オンラインツール（Zoom）の操作説明、体操、参加者交流、介護予防事業の紹介、グループ活動に向けた支援など（全5回）</p>		
<p>参加実績 令和4年9～10月 27人（オンライン＋駅前CC・井口CC） 令和4年11～12月 23人（オンライン＋牟礼CC・UR新川島屋敷団地集会所）</p>		
<p>【財源内訳】</p>		
<p>都支出金 1,100,000円</p>		
22 高齢者施設等の感染症対策設備の整備支援	8,294,000円	8,250,000円
＜高齢者施設等感染症対策設備整備推進事業費＞		
<p>高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止を図るため、東京都の補助制度を活用して、市内地域密着型施設等における感染症対策設備の整備を支援しました。</p>		
<p>〔実績・内容〕</p>		
<p>対象者 定員29人以下の市内地域密着型施設等</p>		
<p>助成要件 簡易陰圧装置の設置、ゾーニング環境等の整備、多床室の個室化のいずれかを実施</p>		
<p>助成実績 有料老人ホーム 1施設（簡易陰圧装置の設置）</p>		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

都支出金 8,250,000円

23 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付 691,533,000円 464,841,164円
 [うち令和3年度からの繰越分 691,533,000円 464,841,164円]

＜住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費（繰越明許費執行額）＞

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活・暮らしの支援を行うため、国の補助事業として実施した令和3年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付について、一部を令和4年度に繰り越して実施しました。

また、令和4年4月に国が決定した「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に基づき、令和4年度から新たに非課税となった世帯に対しても給付しました。

〔実績・内容〕

- 給付対象者 (1) 基準日（令和3年12月10日）において、世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯
 (2) 基準日（令和4年6月1日）において、新たに世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税となった世帯
 (3) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、家計が急変し、(1)、(2)の世帯と同様の事情にあると認められる家計急変世帯

※住民税均等割課税者の扶養親族等のみからなる世帯は対象外

給付額 1世帯当たり10万円

- 申請期間 (1) 令和4年2月2日～5月31日
 (2) 令和4年7月1日～9月30日
 (3) 令和4年2月2日～9月30日

給付世帯数 令和4年度給付実績 4,388世帯
 ※令和3年度からの総給付実績 19,646世帯
 (1) 令和3年度非課税世帯 17,059世帯
 (2) 令和4年度非課税世帯 2,381世帯
 (3) 家計急変世帯 206世帯

- 申請率 (1) 令和3年度非課税世帯 88.1%
 (2) 令和4年度非課税世帯 85.0%

【財源内訳】

国庫支出金 464,841,164円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

24 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の給付 1,180,111,000円 883,706,144円

＜電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費＞

電力・ガス・食料品等の価格高騰により、特に家計への影響が大きい低所得世帯を支援するため、国の補助事業として、住民税非課税世帯等に対し、「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」を給付しました。

〔実績・内容〕

- 給付対象者 (1) 基準日（令和4年9月30日）において、世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯
(2) 予期せず家計が急変し、(1)の世帯と同様の事情にあると認められる家計急変世帯

※住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金との併給可

※住民税均等割課税者の扶養親族等のみからなる世帯は対象外

給付額 1世帯当たり5万円

申請期間 令和4年11月7日～令和5年1月31日

給付世帯数 17,079世帯（非課税世帯16,910世帯、家計急変世帯169世帯）

申請率 88.5%

【財源内訳】

国庫支出金 883,706,144円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

児童福祉費

- 1 義務教育就学児の医療費助成の拡充 16,968,000円 16,747,291円

＜義務教育就学児医療費助成事業費＞

子育てしやすい環境の一層の充実及び子育て家庭の更なる経済的負担の軽減を図るため、義務教育就学児医療費助成の所得制限について、小学6年生まで制限を撤廃していましたが、令和4年10月より中学3年生までに対象を拡充して実施しました。

〔実績・内容〕

所得制限の撤廃による新規対象児童数 1,983人（令和5年3月31日現在）

- 2 高校生等の医療費助成の実施 69,160,000円 21,632,563円

＜高校生等医療費助成事業費＞

義務教育就学児の医療費助成に加えて、令和4年10月からすべての高校生等（16～18歳）に対しても、医療保険の自己負担額（通院の場合1回200円上限を除く）の助成を実施し、子育てしやすい環境の一層の充実を図りました。なお、医療機関で保険診療自己負担額（3割）を支払った後に、市の窓口において助成の申請を行う現金給付（償還払い）により実施していましたが、令和5年4月から義務教育就学児と同様に、医療証を用いる現物給付での東京都の制度が開始し、それに伴うシステム開発や医療証の作成などの準備を行いました。

〔実績・内容〕

現金給付請求件数 807件

【財源内訳】

都支出金	9,811,000円	一般財源	11,821,563円
------	------------	------	-------------

- 3 保育施設等における感染症防止対策 52,700,000円 43,652,920円

＜新型コロナウイルス感染症対策関係費、むらさき子どもひろば管理運営費、学童保育所管理関係費＞

保育施設・幼稚園等において、感染症防止対策を適切に実施するため、国・東京都の補助金を活用し、引き続き、民間施設に対する衛生用品等の購入支援を行いました。また、公立施設についても、必要な衛生用品等を配備しました。

〔実績・内容〕

対象施設	保育園、幼稚園、学童保育所、親子ひろば、一時預かり施設 等
助成金額	1施設当たり最大40万円（施設規模等により金額は異なる）
助成内容	マスク、アルコール消毒液などの衛生用品 等

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	16,480,000円	都支出金	7,643,000円
一般財源	19,529,920円		

4 保育施設及び幼稚園等でのPCR検査の支援 10,276,000円 52,786円

＜PCR検査助成事業費＞

令和3年度に引き続き、保育施設・幼稚園等において、子どもが感染した場合、濃厚接触者に該当していなくても感染の不安を感じている子どもや職員に対して、PCR検査費用の助成を行い、コロナ禍においても安全・安心な保育の提供に取り組みました。

〔実績・内容〕

対象者 以下の要件を満たし、医療機関が実施する任意のPCR検査を実施した方

- ・感染が発生した施設内の児童、職員
- ・濃厚接触者等に該当しない
- ・検査を希望し、かつ施設が必要と認める場合

対象施設 幼稚園、認定こども園、認可保育園、地域型保育施設、認証保育所、企業主導型保育施設、学童保育所、くるみ幼児園

対象期間 感染が発生してから概ね2週間以内

補助額 検査費用を対象に上限2万円

利用実績 1人

〔関連事業費〕

教育費 小中学校でのPCR検査の支援 654,214円（167ページ参照）

5 保育士等の処遇改善の実施 108,084,479円 99,386,475円

＜保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費（国庫補助事業分）、保育従事職員等処遇改善事業費（都補助事業分）、公設公営保育園運営事業費＞

国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、国及び東京都の補助金を活用して、保育士や幼稚園教諭等の収入を3%程度（月額9,000円）引き上げる経費を助成することにより、処遇改善を図りました。なお、令和4年10月からは、各施設への運営費等に組み込むことにより助成を行いました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

- 対象施設
- ・国事業分（94施設）
保育園、幼稚園、認定こども園、地域型保育施設、学童保育所、母子生活支援施設
 - ・都事業分（15施設）
認証保育所、病児保育施設、定期利用保育施設

【財源内訳】

国庫支出金	83,796,913円	都支出金	14,694,340円
一般財源	895,222円		

6 子育て世帯生活支援特別給付金の給付 165,350,354円 148,597,529円

〈子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費〉

コロナ禍において物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯の生活を支援するため、国の補助事業として「子育て世帯生活支援特別給付金」を給付しました。

〔実績・内容〕

- 対象児童 令和4年3月31日時点で、18歳未満の児童
(障がい児の場合、20歳未満)
- 給付対象者
- ・低所得のひとり親世帯
令和4年4月分の児童扶養手当受給者
※公的年金等の受給により児童扶養手当の支給を受けていない世帯、家計急変世帯（直近で収入が減少し、児童扶養手当の対象となる水準に下がった方）を含む。
 - ・その他低所得の子育て世帯
令和4年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の受給者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税の方
※高校生のみ養育世帯及び家計急変世帯（直近で収入が減少し、住民税均等割が非課税相当の水準に下がった方）を含む。
- 給付額 児童1人につき5万円
- 初回給付日 令和4年6月29日（水）
- 給付実績 2,869人 低所得のひとり親世帯 1,036人
その他低所得の子育て世帯 1,833人

【財源内訳】

国庫支出金	148,596,000円	一般財源	1,529円
-------	--------------	------	--------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

7 保育施設等への物価高騰に伴う支援 35,974,000円 35,974,000円

＜保育施設等物価高騰対策支援事業費、公設公営保育園運営事業費＞

コロナ禍において原油価格・物価高騰に直面している認定こども園、保育施設、幼稚園に対して、国の交付金を活用し、食材費、光熱費及びガソリン代の高騰分に対し給付金を給付し、事業者の負担軽減と利用者負担への転嫁の回避を図りました。

〔実績・内容〕

対象施設	幼稚園、認定こども園、認可保育園、地域型保育施設、認証保育所、企業主導型保育施設
給付額	各施設の令和3年度実績をもとに算出した単価に、物価高騰の影響（食材費8%、光熱費及びガソリン代10%）を乗じた額 ※公立保育園は食材費のみ
給付施設数	94施設

【財源内訳】

国庫支出金	25,979,000円	一般財源	9,995,000円
-------	-------------	------	------------

8 物価高騰対策子育て応援給付金の給付 306,347,102円 300,675,373円

＜物価高騰対策子育て応援給付金給付事業費＞

コロナ禍において物価高騰等に直面する子育て世帯の生活を応援するため、国・東京都の補助金を活用して、すべての子育て世帯を対象に市独自の「物価高騰対策子育て応援給付金」を給付しました。

〔実績・内容〕

対象児童	令和4年11月1日時点で住民登録がある、令和5年3月31日時点で18歳以下（高校生年齢相当）の児童
給付額	児童1人につき1万円
初回給付日	令和4年12月23日（金）
給付実績	29,057人

【財源内訳】

国庫支出金	250,890,000円	都支出金	13,395,000円
一般財源	36,390,373円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

9 子育て力向上に向けた支援の更なる充実 2,229,000円 1,877,125円

＜子育て世代包括支援センター関係費、子ども家庭支援センターすくすくひろば管理運営費＞

子育て講座やあそび・交流の場の提供などの育児講座の実施回数や内容の見直しを行い、子育てに悩みを持つ保護者の支援と子育て環境の更なる充実を図りました。

〔実績・内容〕

育児講座	講座回数の増加 R3：20回→R4：24回
父親向け育児講座	講座回数の増加 R3：3回→R4：5回
親の育児力向上講座	こいぬ・こねこプログラムのステップアップ講座として、2歳半以上が対象の講座を新設

〔関連事業費〕

教育費 多世代交流センター講座等の開催	201,600円
---------------------	----------

【財源内訳】

国庫支出金	621,000円	都支出金	155,000円
一般財源	1,101,125円		

10 子どもショートステイ事業の拡充 2,443,000円 1,841,000円

＜子どもショートステイ事業費＞

保護者が入院、親族などの看護、冠婚葬祭などの事由で保育ができない際に、一時的に宿泊を伴う保育を行うショートステイ事業について、対象年齢を拡充し、緊急時における1歳半から2歳未満児の受け入れを開始しました。

〔実績・内容〕

利用実績	48泊（2歳から小学生の利用、1歳半から2歳未満児の利用なし）
------	---------------------------------

【財源内訳】

国庫支出金	67,000円	都支出金	920,000円
寄附金	10,000円	諸収入	5,000円
一般財源	839,000円		

11 病児保育事業の利用促進 25,767,000円 22,693,462円

＜病児保育事業費＞

病気により集団保育が困難な児童の保育を行う病児保育施設の利用について、利用料金及び利用方法の見直しを行い、利用の促進を図りました。

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

利用料金	利用時間にかかわらず1日2,000円 ※見直し前 1日4,000円、半日2,000円
利用方法	市で利用登録（施設の相互利用が可能） ※見直し前 各施設へ直接事前登録を行い利用
見直し時期	令和4年4月
利用実績	延べ677人（令和3年度453人）

【財源内訳】

国庫支出金	7,024,000円	都支出金	11,878,000円
一般財源	3,791,462円		

12 時代に即した子育て支援に向けた情報発信・相談体制の強化

〈子育て支援サイト運営事業費〉 6,829,000円 5,345,560円

より身近で使い勝手のよい子育て支援ツールとして、新たな子育て支援サイト「みたかきっずナビ」の運用を開始し、利便性の向上と情報発信・相談体制の強化を図りました。

〔主な特長〕

- ・ウェブサイトのスマートフォンでの最適化表示
- ・目的や対象年齢等条件を指定した検索が可能
- ・「ゆりかごスマイル」の機能を含んだスマートフォン向けのアプリの提供
- ・一時預かりのオンライン予約（初回利用登録を除く）

【財源内訳】

国庫支出金	1,814,000円	都支出金	1,765,000円
一般財源	1,766,560円		

13 保育園一斉メール配信システムの拡充 4,565,000円 4,565,000円

〈保育園事務関係費〉

公設公営保育園ですでに導入している一斉メール配信システムについて、公設公営保育園以外にも拡充して導入し、保護者への情報発信の充実を図りました。

〔実績・内容〕

対象園数 56園（47園増）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
14 公設公営園の弾力運用による1歳児保育定員の拡充	3,892,000円	3,892,000円
＜公設公営保育園運営事業費＞ 待機児童の解消に向けて、年齢別の保育ニーズを踏まえ、野崎保育園において1歳児クラスの弾力運用による定員拡充を行いました。 〔実績・内容〕 実施園 野崎保育園 拡充内容 1歳児2人増（3歳児2人減）		
15 保育園における給食用食材の放射性物質検査の実施	244,976円	216,634円
＜公設公営保育園運営事業費＞ 児童や保護者のより一層の安心のため、公立保育園における給食用食材の放射性物質検査を実施し、いずれも放射性物質は検出されませんでした。 〔実績・内容〕 実施日 令和4年6月29日（水）、7月4日（月）、6日（水） 対象園 公立保育園 13園（各園1回） 検査品目 園児に提供した給食（一食まるごと検査）		
16 森林環境譲与税を活用した公共施設木製備品導入プロジェクトの推進		
＜私立保育園運営事業費、施設型給付関係費＞	32,200,000円	24,800,000円
「公共施設木製備品導入プロジェクト」を推進するため、令和元年度から譲与されている森林環境譲与税を活用しながら、市内の保育施設等へ木製備品を導入しています。令和4年度は、「三鷹市公共建築物等における木材利用推進方針」に基づき、私立認可保育園30園で木製の机や椅子、遊具などを導入しました。 〔関連する歳入〕 森林環境譲与税20,872,000円のうち民生費分 17,367,000円 〔関連事業費〕 教育費 学校施設の大規模改修工事の実施 378,312,000円(177ページ参照)		
【財源内訳】		
繰入金 7,433,000円	一般財源	17,367,000円

■木製備品の例 絵本棚（左）／テーブル（右）



17 私立認可保育園の運営支援

319,853,000円 304,016,000円

＜私立保育園運営事業費＞

待機児童の解消と多様化する保育ニーズに対応するため、令和4年4月に開設した私立認可保育園1園及び建替えに伴い定員を拡充する1園の運営費を支援しました。なお、東京都市町村総合交付金政策連携枠の待機児童対策を活用し、財政負担の軽減を図りました。

〔施設概要〕

ときむれのコ保育園（新規開設）

所在地 牟礼四丁目

定員	0歳児	1歳児	2歳児	計
	6人	18人	18人	42人

椎の実子供の家（定員拡充）

所在地 大沢四丁目

定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
拡充人数		2人	2人	2人	2人	2人	10人
拡充後定員	9人	18人	20人	20人	20人	20人	107人

【財源内訳】

分担金負担金 23,456,100円

国庫支出金 84,863,000円

都支出金 76,019,000円

一般財源 119,677,900円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

18 保育施設における医療的ケア児支援の拡充 33,511,000円 14,349,098円

＜医療的ケア児支援事業費＞

令和2年度から実施している公私連携型保育園における医療的ケア児の受け入れについて、令和4年度から新たに公設公営保育園での受け入れを開始し、医療的ケア児の地域生活の更なる向上を支援しました。

〔実績・内容〕

対象者 集団生活が可能な医療的ケアを必要とする児童
 ※経管栄養（経鼻・胃ろう）、導尿、インスリン注射に限定
 （令和5年度からたんの吸引を追加）

実施施設 三鷹南浦西保育園、三鷹赤とんぼ保育園、あけぼの保育園（令和4年度開始）

受入実績 3人

【財源内訳】

都支出金	11,483,000円	一般財源	2,866,098円
------	-------------	------	------------

19 待機児童解消に向けた定期利用保育事業の実施 59,595,304円 59,308,501円

＜定期利用保育事業費＞

令和3年3月まで認証保育所として事業を行っていた施設の跡地を活用し、1、2歳児の待機児童解消のための緊急対策として、令和4年5月から定期利用保育施設の運営を開始しました。

〔施設概要〕

三鷹市定期利用保育室ひなた

所在地 下連雀四丁目

対象者 認可保育園等の入園を希望したものの入所に至らなかった児童

定員 20人（1歳児：10人、2歳児：10人）

運営方法 民間事業者へ委託

利用実績 6人

【財源内訳】

都支出金	29,832,000円	諸収入	735,761円
一般財源	28,740,740円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

20 地域における「発達支援」の充実 2,403,400円 1,470,600円

＜相談訓練事業費＞

発達に課題のある児童を切れ目なく効果的に支援するため、子ども発達支援センターの相談訓練事業において、障がいや発達に課題のある子どもに対する関わり方や育児の仕方等を学ぶ講座を拡充して実施しました。

〔実績・内容〕

講座名	にじプログラム保護者向け講座
対象者	0～5歳の子どもを養育する保護者（利用実績48人）
実施内容	各年齢ごとに親子で参加するプログラムのほか、専門療法士による保護者向け講座など、令和4年度は、主に3、4歳児を対象に実施しました。
参加者数	48人

【財源内訳】

都支出金	265,000円	一般財源	1,205,600円
------	----------	------	------------

21 養育費確保支援等事業の実施 850,000円 208,498円

＜養育費確保支援等事業費＞

養育費の不払い等により経済的困窮に悩むひとり親家庭が多い現状があることから、弁護士による無料相談及び書類の作成や手続きにかかる費用を助成するなど、養育費を継続的に受け取れるように支援を行いました。

〔実績・内容〕

- (1) 無料弁護士相談との連携

離婚に伴う諸問題のうち、市民相談等で対応が困難な専門的な問題について、男女平等参画相談員（弁護士）等との相談を行うことにより、早期解決に向けた支援を行いました。

相談件数 5件
- (2) 養育費保証サービスに係る経費の助成

養育費を確実に受け取ることを目的として、民間事業者と養育費保証契約を締結する際に要する初回の保証料（上限5万円）を助成しました。

助成件数 1件
- (3) その他手続きに関する経費の助成

養育費に関する公正証書の作成に係る費用（上限5万円）を助成しました。

助成件数 7件

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	104,000円	都支出金	74,000円
一般財源	30,498円		

22 多世代交流センター事業の地域での実施と中高生・若者交流事業の拡充

＜移動児童館事業費、中高生・若者交流事業費＞ 1,322,000円 1,219,795円

市内各地域のニーズと課題に応じるため、各地区住民協議会、近隣町会等と連携し、多世代交流センターの事業内容を拡充しました。

〔実績・内容〕

・住民協議会との連携

全地区の住民協議会を対象とした調査を行い、地域のニーズと課題の発掘に取り組みました。また、多世代交流センター事業の市全域への拡充に向けて各地区と定期的な協議や連携事業（工作教室や子どもの居場所づくり等）を行いました。

・移動児童館事業の拡充

東多世代交流センターでは、週1回牟礼コミュニティ・センターにて実施している乳幼児親子向けひろばの定員を15組から20組へ拡充しました。また、新たに小学生以上を対象とした放課後の子どもの居場所づくり（11回）を実施しました。

西多世代交流センターでは、なんじゃもんじゃの森で月2回、幼児と小学生を対象にした野外活動（24回）を実施しました。

・中高生・若者交流事業の拡充

週1回17～19時に実施している東の「ドリームタイムセブン」、西の「ユースタイムセブン」について、利用者数の多い水曜日にも実施し、週2回に拡充しました。放課後の居場所を提供するとともに、さまざまなニーズに応じた相談機会を確保しました。

実施回数 東：99回（令和3年度 48回）
西：97回（令和3年度 48回）

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

23 学童保育所待機児童の解消に向けた取組	44,641,410円	29,354,272円
(1) 新たな学童保育所分室の運営	38,536,000円	23,601,286円

＜学童保育所管理関係費＞

学童保育所における待機児童の解消に向けて、新たに学童保育所分室3箇所の運営を開始しました。

〔施設概要〕

施設	所在地	定員
五小学童保育所A分室	井の頭二丁目	40人
中原小学童保育所分室	中原二丁目	30人
にしみたか学園学童保育所分室	野崎三丁目	30人
合計		100人

【財源内訳】

使用料手数料	4,448,500円	国庫支出金	4,959,000円
都支出金	14,076,000円	一般財源	117,786円

(2) 学童保育所分室の整備	6,105,410円	5,752,986円
----------------	------------	------------

＜大沢台小学童保育所整備事業費、北野小学童保育所整備事業費＞

学童保育所における待機児童ゼロの継続に向け、学校施設を活用した新たな学童保育所分室の整備に取り組み、令和5年4月から定員を拡充しました。

〔施設概要〕

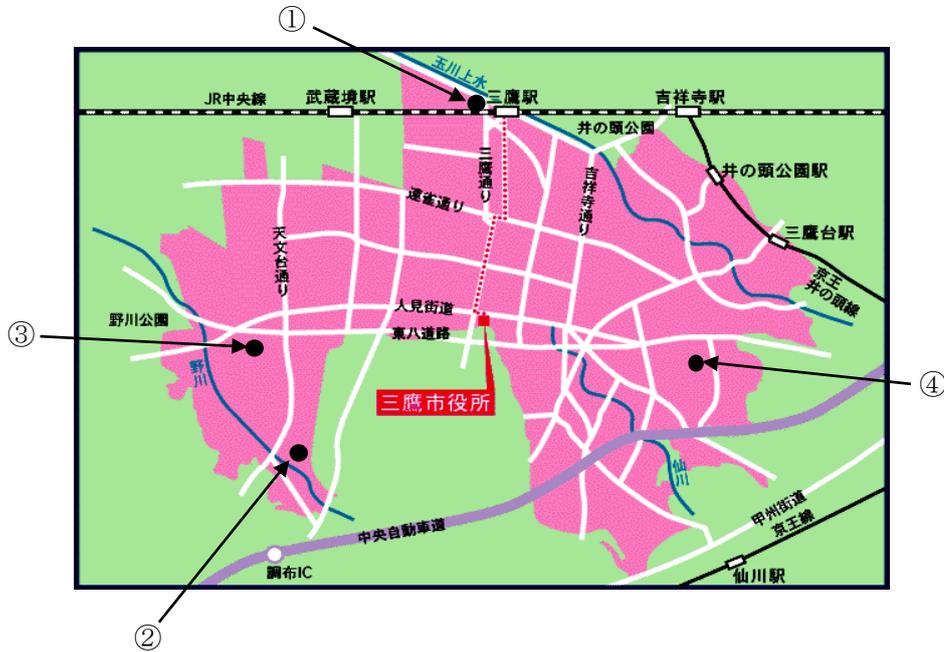
	大沢台小学童保育所分室	北野小学童保育所分室
所在地	大沢二丁目	北野三丁目
開設時期	令和5年4月	
定員	30人	40人

【財源内訳】

国庫支出金	1,276,000円	都支出金	2,553,000円
一般財源	1,923,986円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
24 子育て世帯への臨時特別給付金の給付	16,028,000円	9,809,432円
〔うち令和3年度からの繰越分〕	16,028,000円	9,809,432円〕
＜子育て世帯への臨時特別給付事業費（繰越明許費執行額）＞		
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、国の補助事業として令和3年度より実施している、子育て世帯への臨時特別給付金の給付について、一部を令和4年度に繰り越して実施しました。		
〔実績・内容〕		
給付対象者	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年10月1日から令和4年3月31日までに出生した児童の主たる生計維持者で児童手当の所得制限未満の方のうち、令和4年4月に給付となる方（主に3月出生） 基準日（令和3年9月30日）以降の離婚等により新たに養育者となった児童手当の所得制限未満の方 	
給付額	子ども1人につき10万円	
給付実績	98人（※令和3年度からの総給付実績 20,694人）	
【財源内訳】		
国庫支出金	9,409,432円	一般財源 400,000円

令和4年度に取り組んだ主な施設整備



【社会福祉費】

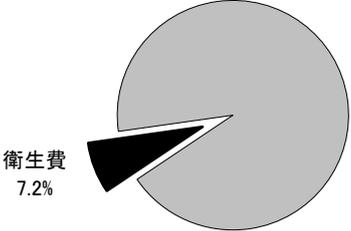
- ①障がい者就労等支援事業所サザン 障がい者施設の整備への支援
- ②福祉Laboどんぐり山 福祉Laboどんぐり山プロジェクトの推進

【児童福祉費】

- ③大沢台小学童保育所分室 学童保育所待機児童の解消に向けた取組
- ④北野小学童保育所分室 学童保育所待機児童の解消に向けた取組

第4款 衛生費

■一般会計に占める割合



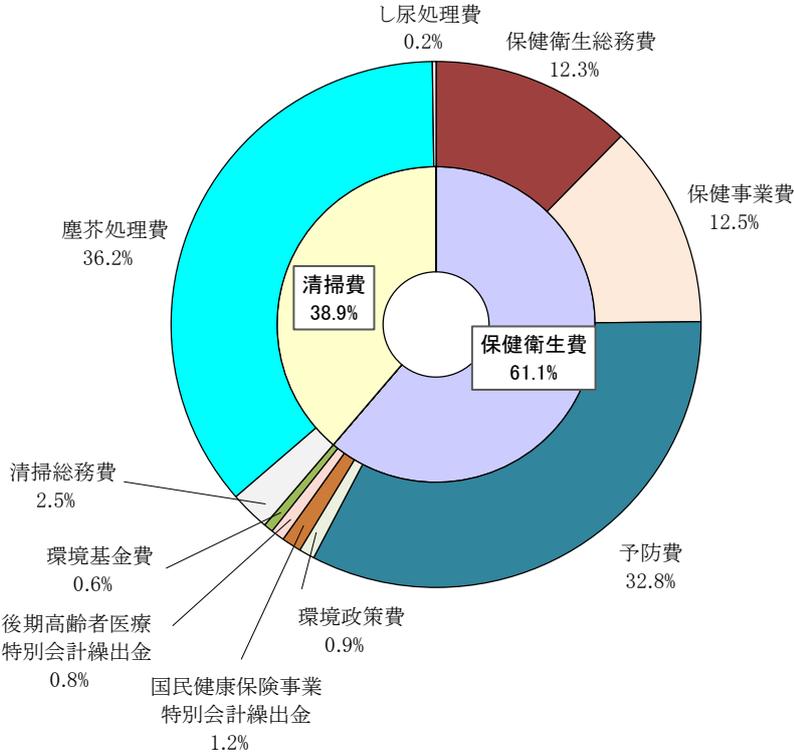
■予算現額・決算額と財源構成

(単位 千円)

	予算現額	決算額	財源構成				執行率
			国・都支出金	市債	その他	一般財源	
令和4年度	6,675,374	5,471,342	1,718,125	0	495,755	3,257,462	82.0%
令和3年度	6,947,771	6,181,217	2,496,078	106,100	500,431	3,078,608	89.0%
増△減	△272,397	△709,875	△777,953	△106,100	△4,676	178,854	—

決算額項別目別構成比

内円：項
外円：目



保健衛生費

1 休日診療所・休日調剤薬局等の一体的整備 44,695,442円 25,326,409円

＜休日診療所・休日調剤薬局等の一体的整備事業費＞

旧総合保健センター跡地にリース方式で建設を予定していた休日・休日準夜診療所、小児初期救急平日準夜間診療所、休日歯科応急診療所、休日薬局の一体的施設について、実施設計の段階で地盤調査を行ったところ、想定地耐力を満たしていないことが判明したため、地盤補強工事を含めて建設工事を実施し、令和5年3月5日に暫定施設としてオープンしました。

〔施設整備概要〕

建設地 新川六丁目35番28号

構造 軽量鉄骨造（平屋）

整備内容 休日診療所、こども救急みたか、休日薬局（薬剤師会事務局を含む）、休日歯科応急診療所、会議室、トイレ、駐車場、駐輪場等

〔債務負担行為の内容〕

休日診療所・休日調剤薬局等暫定施設使用料（追加分） 311,744円

（令和5年～9年度＜債務負担分＞9,038,256円 全体事業費9,350,000円）

【財源内訳】

都支出金	97,000円	諸収入	315,728円
一般財源	24,913,681円		

2 新型コロナウイルス感染症対策の推進 202,310,000円 163,983,900円

＜新型コロナウイルス感染症医療支援事業費、新型コロナウイルス感染症自宅療養者等医療支援事業費、新型コロナウイルス感染症対策関係費＞

新型コロナウイルス感染症が急拡大した中、医療崩壊を防ぐため、自宅療養者等への遠隔診療や往診の促進、PCR検査の充実に向けた医療機関への助成を令和4年7月から拡充するとともに、医療体制の確保に向けた支援を令和5年3月まで期間を延長して行いました。また、令和3年度に引き続き、専門家の意見を取り入れた感染症対策を実施しました。

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

- (1) 医療体制確保支援事業 156,754,000円
 医療従事者の処遇充実（手当、安全な環境確保等）に係る経費の助成
 特定機能病院 延べ10床、1医療機関
 重点医療機関 延べ10床、1医療機関
 疑い患者受入協力医療機関 延べ8床、2医療機関
 PCR検査等行政検査実施医療機関 64医療機関
 ※PCR検査等に係る助成については、令和4年7月に定額制から実績に応じた助成内容に見直しました。
- (2) 自宅療養者等医療支援事業 7,049,900円
 自宅療養をしている方や感染が疑われる方に対する、電話やオンラインでの遠隔診療及び往診等に係る経費の助成
 遠隔診療実施医療機関 延べ1,253件、21医療機関
 往診実施医療機関 延べ265件、12医療機関
- (3) 専門家の助言 180,000円
 三鷹市感染症アドバイザーの水野泰孝医師へイベント等での注意点や、感染症に関する指導・助言を求め、適切な感染症対策を実施しました。

3 PCR検査等に要する費用の助成 14,291,000円 12,322,628円

＜PCR検査等助成事業費＞

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、PCR検査等に要する費用の助成を行い、感染拡大の防止を図りました。

〔実績・内容〕

実施期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
 助成対象 市内の高齢者・障がい者施設の事業所等が職員や利用者等に対して実施するPCR検査等に要する費用
 助成金額 PCR検査 20,000円／人（上限額）
 抗原検査 7,500円／人（上限額）
 助成件数 PCR検査 3,869件、抗原検査 0件

【財源内訳】

都支出金	12,322,000円	一般財源	628円
------	-------------	------	------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

4 自宅療養者等への支援の継続 23,783,314円 12,279,438円

＜自宅療養者相談支援関係費＞

新型コロナウイルス感染症による自宅療養者等に対し、きめ細かな相談を通して在宅での生活を支援するために設置した自宅療養者相談支援センターについて、開設期間を令和5年3月まで延長し、保健所との情報共有を図りながら食料品等の支援を行うなど、安心して自宅で療養できる環境を整備しました。

〔実績・内容〕

相談件数	1,220件
食料品支援（ごはん等3日分程度）	1,476件
生活用品支援（トイレトペーパー等）	467件
パルスオキシメーター支援（3週間程度の貸与）	280件

【財源内訳】

都支出金	12,093,000円	一般財源	186,438円
------	-------------	------	----------

5 食育推進事業の拡充 627,000円 503,156円

＜食育推進事業費＞

子どもの健やかな心と身体の発達を促すため、食育事業を拡充しました。

〔実績・内容〕

・妊婦やそのパートナーへの食育講習会の拡充

妊婦やそのパートナーを対象に実施している講習会について、三鷹産野菜を活用した離乳食の作り方など野菜摂取や食の重要性への理解を深める内容に拡充しました。

実施回数 16回

参加人数 301人

・食育講習会の実施

FC東京の石川直宏クラブコミュニケーターを講師に迎え、小学生の子どもを持つ保護者を対象に、第二次成長期を迎える子どもの食に関する知識や成長期に必要な食事の重要性をテーマとした講習会を実施しました。

実施回数 1回

参加人数 84人

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

・食育プログラムの実施

2歳半から3歳前後までの子どもとその保護者を対象に、三鷹産野菜を使用した体験型の食育教室を開催し、家族で取り組むことができる食育への理解を深めるプログラムを実施しました。

実施回数 5回

参加組数 14組

【財源内訳】

都 支 出 金	228,000円	一 般 財 源	275,156円
---------	----------	---------	----------

6 産後うつ病等対策の拡充 6,128,000円 4,025,411円

＜産後うつ病等対策事業費＞

産後うつ病や強い育児不安等を抱える母親を早期に発見し、適切な支援につなげるために行っている母親のメンタルヘルスに関するスクリーニング調査について、よりきめ細かに状況を把握し、産後うつ病や虐待等の予防を図るため、実施方法を郵送方式から対面方式に変更しました。

〔実績・内容〕

訪問件数 延べ1,200件

【財源内訳】

都 支 出 金	1,689,000円	一 般 財 源	2,336,411円
---------	------------	---------	------------

7 出産・子育て応援ギフトの支給 148,016,000円 1,931,306円

＜伴走型・経済的支援事業費＞

妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、保健師等による面談等を通じた「伴走型相談支援」と出産・子育て応援ギフトを支給する「経済的支援」の一体的な支援を、国と東京都の補助金を活用し、令和5年3月から開始しました。令和4年度は、4月1日以降に妊娠届出及び出生届出をした方に対して、面談に代わり子育てに関するアンケートを送付し、支援につなげました。なお、出産・子育て応援ギフトについては、翌年度にかけて支給が見込まれたため、令和5年度に繰り越して執行します。

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

〔実績・内容〕

・伴走型相談支援

妊娠中及び出生後の面談に代わりアンケートを実施

・経済的支援

妊娠届出に伴う支援 妊婦1人に対して5万円相当のゆりかごギフトを支給

出生届出に伴う支援 子ども1人に対して5万円相当のすこやかギフトを支給

※アンケートの回答があった方に対して令和5年4月以降に支給を開始

・アンケートの送付状況

妊娠中の方 777件

出産した児童を養育する方 1,134件

〔繰越明許費繰越額〕

令和5年度への繰越分

伴走型・経済的支援事業費 125,370,000円

【財源内訳】

国庫支出金 1,540,000円 都支出金 391,306円

8 予防接種の実施 149,525,770円 50,847,731円

〈乳幼児等予防接種事業費〉

(1) 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の再開 144,389,000円 45,835,079円

子宮頸がん予防ワクチンについては、国の通知に基づき、平成25年6月から積極的勧奨を控えてきましたが、令和3年11月に、国から積極的勧奨を再開するよう通知があったことから、令和4年度より積極的勧奨（個別通知の送付）を再開しました。また、積極的勧奨を控えていたことにより機会を逃した接種希望者（25歳まで）には、令和6年度まで公費負担での接種を行うとともに、令和3年度末までに任意接種として自費で受けた方に対して接種費用の償還払いを行いました。

〔実績・内容〕

対象者 小学6年生(12歳相当)～高校1年生(16歳相当)の女性
※国の特例措置により、17歳～25歳の女性も令和6年度まで接種可能（キャッチアップ接種）

償還払いの実績 39件（1,503,750円）

【財源内訳】

諸収入 787,347円 一般財源 45,047,732円

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

(2) おたふくかぜワクチンの一部公費助成の実施 5,136,770円 5,012,652円

感染症予防と経済的負担の軽減を図るため、公益社団法人日本小児科学会が推奨するおたふくかぜワクチン（任意接種）の接種費用の一部助成を令和4年10月から開始しました。

〔実績・内容〕

対象者 接種当日に1歳以上2歳未満の市民
 助成内容 公費負担 5,410円、自己負担 3,000円
 ※生活保護受給世帯等は無料
 接種実績 接種人数 897人、接種率 67.1%

【財源内訳】

都支出金	2,134,522円	一般財源	2,878,130円
------	------------	------	------------

9 高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成の拡充の継続 15,630,000円 13,107,816円

＜高齢者等予防接種事業費＞

令和3年度に引き続き、東京都の補助金を活用して、高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を拡充し、接種率の向上を図りました。公費助成の拡充は、令和5年度まで実施します。

〔実績・内容〕

対象者 過去に接種歴がなく、以下のいずれかの要件を満たす市民
 ・65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の方
 ・心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能に障がい等を有する60歳から65歳未満の方
 拡充内容 自己負担額を5,000円から2,500円に軽減
 ※生活保護受給世帯等は無料
 接種実績 令和4年度 接種人数 1,691人、接種率 23.6%
 (令和3年度 接種人数 1,377人、接種率 20.6%)

【財源内訳】

都支出金	4,226,000円	諸収入	341,240円
一般財源	8,540,576円		

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

10 季節性インフルエンザワクチン接種事業の推進 168,994,320円 136,738,242円

＜高齢者等予防接種事業費＞

新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高い高齢者等の季節性インフルエンザ定期予防接種に当たり、自己負担相当分を新たに公費負担として実施し、予防接種の促進を図りました。事業の実施に当たっては、東京都の「季節性インフルエンザ定期予防接種特別補助金」を活用しました。

〔実績・内容〕

対象者	・65歳以上の方 ・60～64歳で基礎疾患のある方
拡充内容	自己負担としてきた2,500円相当分を公費で負担
実施期間	令和4年10月1日～令和5年1月31日
接種実績	令和4年度 接種人数 22,734人、接種率 54.5% (令和3年度 接種人数 18,887人、接種率 45.4%)

【財源内訳】

都支出金	55,540,000円	諸収入	12,264,126円
一般財源	68,934,116円		

11 風しん抗体検査及び予防接種事業の推進 20,020,000円 11,081,245円

＜先天性風しん症候群対策予防接種事業費＞

令和元年度から3年計画で実施してきた特に抗体保有率の低い世代の男性に対する風しんの抗体検査及び第5期定期予防接種について、新型コロナウイルス感染症に伴う受診控え等により、国の計画の実施期間が令和6年度末まで延長されたことから、抗体検査未受検者へ制度利用に必要なクーポン券を再送付し、感染防止を図りました。

〔実績・内容〕

対象者	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち抗体検査未受検者（19,176人）
実施方法	対象者全員にクーポン券を送付
抗体検査受検者数	1,130人（うち226人が予防接種対象（陰性））
予防接種者数	206人

【財源内訳】

国庫支出金	4,377,000円	一般財源	6,704,245円
-------	------------	------	------------

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

12 新型コロナウイルスワクチンの接種	1,671,249,499円	1,145,719,946円
〔うち令和3年度からの繰越分	85,404,499円	19,490,027円〕

＜新型コロナウイルスワクチン接種事業費、同事業費（繰越明許費執行額）＞

予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチンの接種について、令和3年度に引き続き、三鷹市医師会や三鷹市薬剤師会等と連携し、市の特設会場における集団接種のほか、市内医療機関における個別接種や高齢者施設等での接種を計画的に実施しました。また、コールセンターを引き続き設置し、市民からの問い合わせや相談に対して、きめ細かな対応を行いました。なお、予防接種法上の特例臨時接種の接種期間が令和6年3月末まで延長されたことに伴い、令和5年度も現行接種の継続及び新たな追加接種を実施します。

〔実績・内容〕

(1) 12歳以上への第一期追加接種（従来型3回目）

対象者	初回接種（従来型1・2回目）完了後3か月以上経過した方
接種期間	令和3年12月1日～令和5年3月31日（年齢等で異なる）
集団接種	・元気創造プラザ（サブアリーナ・軽体操室） ・三鷹ネットワーク大学
個別接種	市内医療機関等約80箇所
接種実績	122,269人（令和5年3月31日時点接種率 71.4%）

(2) 18歳以上への第二期追加接種（従来型4回目）

対象者	第一期追加接種完了後3か月以上経過した方（6歳未満は基礎疾患等重症化リスクが高い方並びに医療従事者等及び高齢者施設等の従事者に限る）
接種期間	令和4年5月25日～令和5年3月31日（年齢等で異なる）
集団接種	元気創造プラザ（サブアリーナ・軽体操室）
個別接種	市内医療機関等約80箇所
接種実績	45,524人（令和5年3月31日時点接種率 28.2%）
予約指定	予約負担の軽減を目的とし、第一期追加接種を令和4年2月末までに市の集団接種会場で受けた60歳以上の方を対象に、市が接種の日時、会場、ワクチンを指定して接種券を送付しました。

(3) 12歳以上への令和4年秋開始接種の実施（オミクロン株対応型1回目）

対象者	初回接種（従来型1・2回目）を完了し、最後の接種から3か月以上経過した方
接種期間	令和4年9月20日～令和5年5月7日
集団接種	・元気創造プラザ（サブアリーナ・軽体操室） ・三鷹ネットワーク大学

事業名<事項名>及び事業概要	予算現額	決算額
個別接種 接種実績 予約指定	市内医療機関約80箇所 82,324人（令和5年3月31日時点接種率 48.1%） 予約負担の軽減を目的とし、第二期追加接種を令和4年7月末までに市の集団接種会場で受けた60歳以上の方を対象に、市が接種の日時、会場、ワクチンを指定して接種券を送付しました。	
(4) 小児への第一期追加接種（小児用従来型3回目）		
対象者	初回接種（小児用従来型1・2回目）完了後3か月以上経過した5歳～11歳の小児	
接種期間	令和4年9月6日～令和5年3月31日	
集団接種	元気創造プラザ軽体操室（7歳～11歳が対象）	
個別接種	小児科を中心とする市内医療機関約10箇所	
接種実績	1,036人（令和5年3月31日時点接種率 8.8%）	
(5) 小児への令和4年秋開始接種（小児用オミクロン株対応型1回目）		
対象者	初回接種（小児用従来型1・2回目）を完了し、最後の接種から3か月以上経過した5歳～11歳の小児	
接種期間	令和5年3月8日～令和5年8月31日	
個別接種	小児科を中心とする市内医療機関約10箇所	
(6) 乳幼児への初回接種（乳幼児用従来型1～3回目）		
対象者	1回目接種の当日に生後6か月～4歳の乳幼児	
接種期間	令和4年10月24日～令和6年3月末	
接種間隔	・1回目接種から3週間を空けて2回目接種 ・2回目接種から8週間を空けて3回目接種	
個別接種	小児科を中心とする市内医療機関約8箇所	
接種実績	1,036回（令和5年3月31日時点の1回以上接種率 7.0%）	
(7) コールセンター設置期間の延長		
設置場所	市民センター内（開設：令和3年3月15日）	
受付時間	平日の午前9時～午後5時	
(8) 健康被害救済への対応		
	ワクチン接種による健康被害を救済するため、予防接種法に基づく救済制度の申請等に関する相談を受け付けるとともに、三鷹市医師会や保健所、学識者などによって構成する予防接種健康被害調査委員会を開催し、申請内容について調査を行いました。	
開催回数	5回	
調査件数	9件	

事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

【財源内訳】

国庫支出金	1,143,376,305円	諸収入	2,343,506円
一般財源	135円		

13 新型コロナウイルス感染症対策への対応の検証 500,000円 0円

＜新型コロナウイルス感染症対策関係費＞

新型コロナウイルス感染症への対応について、状況の変化を踏まえながら令和5年1月に「新型コロナウイルス感染症に係る対応検証報告」として、各種事業の評価を取りまとめました。引き続き、感染症への対応力を高めるとともに、市民の安全・生活の維持、持続的な行政運営を図ります。

14 「三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」の第1次改定

＜地球温暖化対策関係費＞ 14,982,000円 0円

令和元年度から12年間の計画期間における、温室効果ガスの削減目標と取組を定める「三鷹市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」の第1次改定について、幅広い市民の意見を反映するとともに、「星空の街・あおぞらの街」全国大会のレガシーの継承や令和4年12月の「2050年ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえた内容とするため、改定時期を令和5年度に延期することとしました。なお、計画策定支援業務委託料は、令和5年度に繰り越して執行します。

〔繰越明許費繰越額〕

令和5年度への繰越分

地球温暖化対策関係費 9,460,000円

15 環境をテーマとした連続講座の実施 320,000円 102,086円

＜環境学習事業費＞

「みんなで考えよう みたかのSDGs」をテーマに一人ひとりが実行できる行動を考え、取組を推進するため、全4回の連続講座を開催しました。講座では、「みたか環境活動推進会議」のメンバーが中心となってテーマや内容を選定し、環境の大切さを考える内容としました。

〔実績・内容〕

- ・「食と農、フードロス」講演・グループディスカッション（6月）
- ・「循環のしくみ」三鷹産野菜収穫体験（8月）
- ・「燃料電池車による電力供給デモ、みつろうラップづくり ほか」ふじみまつりでの環境イベント（11月）
- ・「エコロジカル・フットプリント」講演・グループディスカッション（12月）

【財源内訳】

諸 収 入 102,086円

16 「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催 11,000,000円 6,942,548円
 ＜「星空の街・あおぞらの街」全国大会事業費＞

大気環境保全への意識向上及び郷土の環境を生かした地域おこしの推進を目的として環境省、東京都、全国協議会が主催し、三鷹市が主管する「星空の街・あおぞらの街」全国大会を国立天文台と協力して開催しました。また、全国大会開催後には、大会テーマとなった「100年後の地球～今、私たちにできること～」の想いを引き継いでいくため令和4年12月に「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

〔実績・内容〕

開催日 令和4年10月22日（土）～10月23日（日）
 会 場 三鷹市公会堂 など
 内 容 大気環境保全の普及・啓発において優れた活動を行った団体等の表彰、星空報告会、記念講演、星空観望会、エクスカーショ ン など

【財源内訳】

諸 収 入 150,000円 一 般 財 源 6,792,548円

■高円宮妃殿下の御臨席を賜り開催した「星空の街・あおぞらの街」全国大会



事業名＜事項名＞及び事業概要	予算現額	決算額
----------------	------	-----

清掃費

1 粗大ごみ収集処理体制の強化 126,704,000円 123,590,545円

＜粗大ごみ収集関係費＞

令和3年10月に粗大ごみ処理制度を変更し、市民の排出利便性の向上が図られたことなどにより、粗大ごみの収集件数が増加傾向にあったことから、安定的な収集を確保するため、令和4年10月から収集委託車両を5台から6台に1台増車(8,316千円増)し、収集体制を強化しました。

【財源内訳】

使用料手数料	49,277,200円	一般財源	74,313,345円
--------	-------------	------	-------------

2 リサイクルセンターの整備に向けた取組 314,207,000円 314,207,000円

＜ふじみ衛生組合関係費＞

ふじみ衛生組合を事業主体とし、組織市である調布市との共同により、令和9年度の新しいリサイクルセンターの稼働に向けた準備に取り組みました。令和4年度は、「リサイクルセンター整備実施計画（素案）」の策定や生活環境影響調査を実施するとともに、事業方式及び事業者選定審議会を設置し、事業方式の選定を行いました。

〔関連事業費〕

ふじみ衛生組合会計

リサイクルセンター施設整備に係る実施計画（素案）の策定等

79,129,391円

3 し尿投入施設の稼働 13,879,970円 12,203,486円

＜し尿収集処理関係費、し尿投入施設管理関係費＞

多摩川衛生組合に処理を依頼していたし尿等について、旧第二体育館跡地に整備した投入施設を令和4年4月から稼働し、市内で安定的な処理を実施しました。

〔施設概要〕

構造	鉄骨造（平屋）
延床面積	約100㎡（作業場面積 約50㎡）
受水槽	約40㎡
搬入量	約2㎡／回（1日1～2回、週2～3回）
搬入経路	市民センター東側から搬入

【財源内訳】

使用料手数料	6,666,000円	一般財源	5,537,486円
--------	------------	------	------------